ソフトウェア開発者マニュアル

P-touch Template 2.0 コマンドリファレンス

RJ-4230B/4250WB

RJ-3230B/3250WB

RJ-2030/2050/2140/2150

TD-4410D/4420DN/4510D/4520DN/4550DNWB/4210D

TD-2020/2120N/2130N

TD-2020A/2030A/2125N/2125NWB/2135N/2135NWB

TD-2310D/2320D/2320DF/2320DSA/2350D/2350DSA/2350DF/2350DFSA

Version 3.08

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
ブラザーは、ブラザー工業株式会社の登録商標です。
© 2025 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、ブラザー工業はライセンスに基づき使用しています。

BarStar Pro Encode Library (PDF417, Micro PDF417, DataMatrix, MaxiCode, AztecCode,
GS1 Composite, GS1 Databar, Code93, MSI/Plessey, POSTNET, Intelligent Mail Barcode)
Copyright(C) 2007 AINIX Corporation. All rights reserved.

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
QR コード生成プログラム Copyright © 2008 DENSO WAVE INCORPORATED

Zebra, ZPL and ZPL II are registered trademarks of ZIH Corporation.

ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

商標 SBPL はサトーホールディングス（株）の登録商標です。

Portions of this software are copyright © 2014 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

Zint, libzint and Zint Barcode Studio are Copyright © 2022 Robin Stuart.

本ガイドに製品名が記載されている各ソフトウェアの開発会社は、著作プログラムに特定したソフトウェアライセンス契約を有します。
ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ - 必ずお読みください

ご注意

本資料は、お客様が直接プリンター（対応機種については、「付録 A: 対応機種一覧表」をご参照ください）を制御される場合に必要な情報を提供するものです。
お客様が以下の内容にご同意いただいた場合のみ、本資料のご利用が可能です。
もしご同意いただけない場合は、お客様は本資料をご利用いただけません。

ご利用条件

お客様は、お客様ご自身でプリンターをご利用いただくため（以下「本目的」といいます）に必要な範囲においてのみ、本資料を使用し、複製することができるものとします。なお、お客様は次のことを行ってはならないものとします。

(i) 本目的以外の目的で本資料を複製すること

(ii) 本資料を改変し、翻案・翻訳し、または第三者に再頒布すること

(iii) 本資料を第三者に貸与・提供すること

(iv) 本資料に含まれるブラザーの権利に関する表示を削除・改変すること

無保証

a. 対応機種および本資料のバージョンアップや修正等はブラザーが任意で行うものとし、お客様からの本資料の内容に関するお問い合わせまたはご要望に対しては一切応じかねます。

b. ブラザーは本資料に関し、明示または黙示であるかを問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合することを含め、その他いかなる保証も行いません。

c. ブラザーは本資料および本資料に基づきお客様が作成したプログラムに起因して発生した直接的または間接的損害について、お客様に対し、いかなる責任も負わないものとします。

目次

はじめに ····· **3**

P-touch Template 2.0 とは？ ····· **4**

1. P-touch Template 2.0 の使い方 ····· **5**

2. P-touch テンプレート設定ツール説明 ····· **6**

3. コマンド使用例 ····· **12**

3.1 P-touch Template 2.0 の使用例 ····· 12

3.2 P-touch Template 2.0 ロゴ/外字(ビットマップ) 使用例 ····· 17

4. P-touch Template 2.0 制限事項 ····· **20**

4.1 テキストオブジェクトに関して ····· 20

4.1.1 フォント、サイズ等 ····· 20
4.1.2 文字の配置について ····· 21
4.1.3 文字の装飾、レイアウト ····· 22

4.2 バーコードに関して ····· 24

4.2.1 バーコード（全体） ····· 24
4.2.2 1 次元バーコードについて ····· 25
4.2.3 2 次元バーコードについて ····· 26

4.3 イメージに関して ····· 27

4.4 ナンバリングに関して ····· 27

4.5 データベースに関して ····· 27

4.6 その他 ····· 28

4.6.1 テンプレートの転送について ····· 28
4.6.2 テンプレート内のオブジェクト ····· 28

5. 注意事項 ····· **29**

5.1 静的コマンド使用時のご注意 ····· 29

5.2 Bluetooth 使用時(オプション)のご注意 ····· 29

5.3 P-touch Editor の設定と本体イメージの相関表 ····· 30

5.4 印刷までの時間を速くするテンプレートの作成方法 ····· 31

6. コマンド対応一覧 ····· **32**

6.1 P-touchTemplate コマンド ····· 32

6.2 各種設定コマンド （モード共通） ····· 33

6.3 各種設定コマンド（ラスターモード専用） ····· 34

6.4 プリンター制御コマンド ····· 34

7. P-touch Template コマンド詳細 ····· **35**

^II 初期化 ····· 35
^TS テンプレート選択設定 ····· 36
^FF 印刷開始 ····· 37
^CN コピー印刷枚数設定 ····· 38
^NN ナンバリング印刷枚数設定 ····· 39
^ID テンプレートナンバリングデータ初期化 ····· 39
^PT 印刷開始トリガー選択 ····· 40
^PS 印刷開始コマンド文字列設定 ····· 41
^PC 印刷開始受信文字数設定 ····· 42

^SS 区切り記号指定 43
^CO カットオプション設定 44
^LS 改行時の行間設定 45
^CC プレフィックス文字の変更 46
^RC 改行コマンド文字列設定 47
^QS 印刷オプション設定 48
^QV QR コードバージョン設定 49
^FC FNC1 置換設定 50
^OP 本体動作実行（フィード） 51
^SR ステータスリクエスト 52
^VR バージョン情報取得 57
^CR オブジェクト内での改行 58
^OS オブジェクト選択設定（オブジェクト番号） 59
^ON オブジェクト選択設定（オブジェクト名） 60
^DI オブジェクト直接挿入 61

8. 各種設定コマンド詳細 62

ESC iXT2 印刷開始トリガー選択 62
ESC iXT1 印刷開始トリガー選択項目取得 63
ESC iXP2 印刷開始コマンド文字列設定 64
ESC iXP1 印刷開始コマンド文字列取得 65
ESC iXr2 印刷開始受信文字数設定 66
ESC iXr1 印刷開始受信文字数取得 67
ESC iXD2 区切り記号指定 68
ESC iXD1 区切り記号取得 69
ESC iXa2 読み捨て文字列設定 70
ESC iXa1 読み捨て文字列取得 71
ESC iXi2 コマンドモード設定 72
ESC iXi1 コマンドモード設定値取得 73
ESC iXn2 テンプレート選択設定 74
ESC iXn1 テンプレート選択番号取得 75
ESC iXf2 プレフィックス文字変更 76
ESC iXf1 プレフィックス設定文字取得 77
ESC iXc2 カットオプション設定 78
ESC iXc1 カットオプション設定値取得 79
ESC iXy2 一定枚数ごとのカット枚数設定 80
ESC iXy1 一定枚数ごとのカット枚数取得 81
ESC iXm2 文字コードセット選択 82
ESC iXm1 文字コードセット設定値取得 83
ESC iXj2 国際文字設定 84
ESC iXj1 国際文字設定値取得 85
ESC iXR2 改行コマンド文字列設定 86
ESC iXR1 改行コマンド設定文字列取得 87
ESC iXC2 コピー印刷枚数設定 88
ESC iXC1 コピー印刷枚数設定値取得 89
ESC iXN2 ナンバリング印刷枚数設定 90
ESC iXN1 ナンバリング印刷枚数設定値取得 91
ESC iXF2 FNC1 置換設定 92
ESC iXF1 FNC1 置換設定取得 93
ESC iXq2 印刷オプション設定 94
ESC iXq1 印刷オプション設定値取得 95
ESC iXd2 リカバリー有無設定 96
ESC iXd1 リカバリー有無取得 97
ESC iXE2 バーコード余白有無設定 98
ESC iXE1 バーコード余白有無取得 99
ESC iXh2 印刷方向設定 100
ESC iXh1 印刷方向取得 101
ESC iX^2 印刷停止位置指定 102

ESC iX^1　印刷停止位置取得 103
ESC iXv2 (08h) Network Raw ポート双方向通信指定 104
ESC iXv1 (08h) Network Raw ポート双方向通信設定取得 105
ESC iXv2 (0Ch)　リカバリー回数設定 106
ESC iXv1 (0Ch)　リカバリー回数取得 107
ESC iXu2 (04h) ジョブノンストップ印刷有効/無効 設定 108
ESC iXu1 (04h) ジョブノンストップ印刷有効/無効 取得 109
ESC iXu2 (80h)　ZPL II emulation モード 印刷長設定 110
ESC iXu1 (80h)　ZPL II emulation モード 印刷長取得 111
ESC i DC1 SQ(01h)　自己印刷 QR コード内容設定 112
ESC i DC1 SQ(00h)　自己印刷 QR コード内容取得 112
ESC i DC1 SR(01h)　設定変更ロック設定 113
ESC i DC1 SR(00h)　設定変更ロック取得 113
ESC iDC2 3 0　媒体設定余白無視設定 114

9. 各種設定コマンド詳細（ラスターモード専用） 115
ESC iOUD1 全角スペース幅調整有無設定 115
ESC iOUD0　全角スペース幅調整有無取得 116
ESC iOUe1 装飾タグ文字列設定 117
ESC iOUe0 装飾タグ文字列取得 118

10. プリンター制御コマンド詳細 119
ESC i a　コマンドモード切替 119
ESC i U x　再起動 120
ESC i S　ステータスリクエスト 121

11. ZPL II エミュレーションサポートコマンド 122

12. EPL エミュレーションサポートコマンド 126

13. DPL エミュレーションサポートコマンド 128
13.1 Configuration Commands 128
13.2 Format Record Commands 128
13.3 Bar Code Format Record Commanads 129
13.4 System Label Commands 130
13.5 Label Format Commands 131

付録 A: 対応機種一覧表 132

付録 B: 仕様 133

付録 C: 文字コード一覧表 141
文字コード一覧表 141
国際文字セット表 142

付録 D: トラブルシューティング 143
印刷が開始されない場合（よくある主な原因） 143
データベースにリンクされたテンプレートが印刷されない 143
バーコードが印刷されない（よくある主な原因） 143

付録 E: 開発者ツールサイト（Brother Developer Center）のご紹介 144

はじめに

本書はプリンターへ転送したレイアウトにデータを流し、PC 以外の端末を直接制御して印刷する方法が記されています。
本書は、お客様の開発環境におけるプログラミングに関しての知識がある方への説明書となっております。
本書の画面に登場するモデル名は、お使いのプリンター名称に置き換えてお読み下さい。

万一、本書を元にプログラムを開発したにもかかわらず、プリンター及び、P-touch Template を用いたシステムなどのデータが消えたり変化した場合、生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。加えて、本書はいかなる請求の証拠にもなり得ませんので、あらかじめご了承ください。
また、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。

P-touch Template 2.0 とは？

P-touch Template 2.0 は端末からの直接印刷を可能にするシステムの開発をサポートするツールで、下記の機能があります。

- P-touch Editor からプリンターへテンプレートデータを転送します。→(2)
- ASCII テキストやバイナリデータを、ホストからプリンター内のテンプレートに転送します。→ (3)
  （ここでいう「ホスト」は、バーコードリーダーやスマートフォンなどの携帯端末をいいます。）
- 転送されたデータを印刷します。→ (3)
  （下図を参照してください。）

P-touch Template 2.0 コマンドは、プレフィックスの 1 文字コードおよび 2 文字の文字列で構成されます。
このプレフィックスコードが転送されると、プリンターは P-touch Template 2.0 のコマンド解析を開始します。
プレフィックスコードに続く 2 文字の文字列が適切なコマンドであれば、所定の処理を開始します。
コマンドには静的コマンド、動的コマンドの 2 つがあり、静的コマンドによって設定された項目は、電源を OFF にしても値は記憶されます。動的コマンドによって設定された項目は、電源を OFF にするまで有効です。

注意：

*** 機器によっては、P-touch Template 2.0 でデータを転送できないものもあります。**

*** 必ずデータ転送の I/F が装備されているホストを使用してください。**

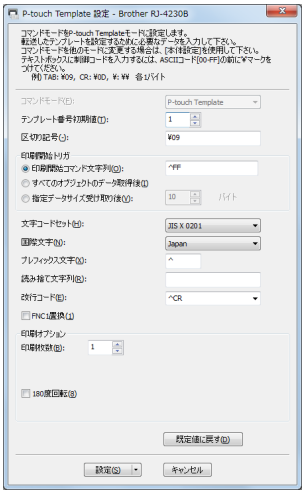
1. P-touch Template 2.0 の使い方

(1) プリンター本体設定

お使いのプリンターの接続先の環境や接続端末に合わせて、「P-touch テンプレート設定」を作動させて、プリンター本体をセットアップします。

(「2. P-touchテンプレート設定ツール説明」参照)

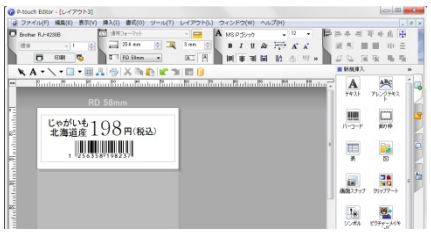
あらかじめ USB 接続によりプリンタードライバーをインストールしてください。



(2) レイアウトの作成

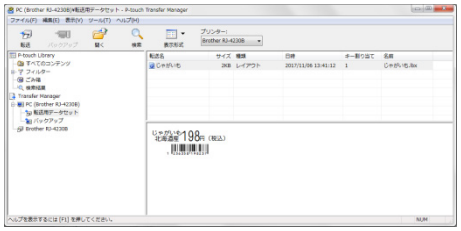
P-touch Editor でプリンター本体に転送するレイアウトを作成します。

(「4. P-touch Template 2.0 制限事項」参照)



(3) レイアウトの転送

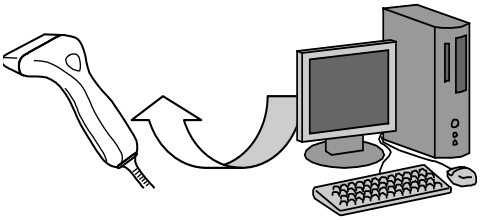
P-touch Transfer Manager を使用して、レイアウトをプリンター本体に転送します。



(4) P-touch Template 2.0 コマンドによるプログラム

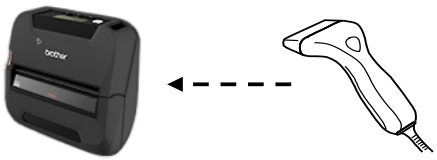
プリンター本体を制御するために特別なコマンドが必要であれば、P-touch Template 2.0 コマンドリファレンスに従って接続する端末のプログラムを変更してください。

(「6. コマンド対応一覧」参照)

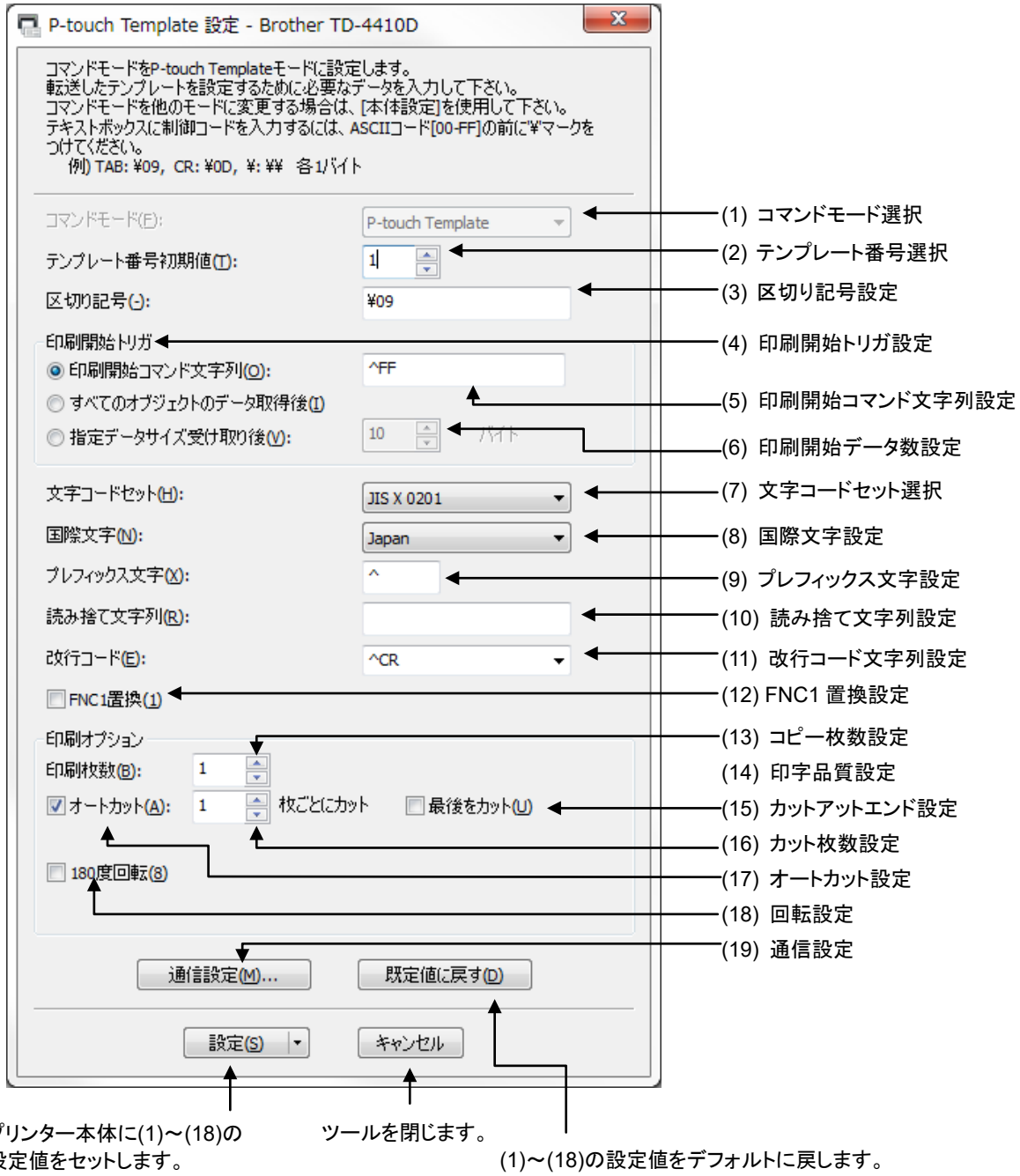


(5) 端末との接続から印刷

接続する端末からテキストデータをプリンター本体へ送り、帳票等を印刷します。



2. P-touch テンプレート設定ツール説明



※設定可能な項目は機種によって異なります。

※画像に使用している TD-4410D の P-touch Template 設定には「(14)印字品質設定」はありません。

(1) コマンドモード選択

- P-touch Template モードをデフォルトモードとして指定します。

(2) テンプレート番号選択

電源 ON 時に、デフォルトで選択されるテンプレート番号を設定します。

ただし、プリンター本体に転送されていないテンプレート番号を設定することはできません。

(3) 区切り記号設定

区切り記号とは、データの流し込み対象を、次のオブジェクトに移行する時に使う記号です。

1～20 文字の文字列で設定します。

(4) 印刷開始トリガ設定

印刷開始トリガを、以下の 3 つの中から1つ選択します。

- 印刷開始コマンド文字列受信時

  （(5)で設定した印刷開始コマンド文字列を受信した時、印刷を開始します。）

- 全てのオブジェクトが埋まった時

  （最終オブジェクトで、区切り記号を受信した時、印刷を開始します。）

- 設定されている文字数受信時

  （(6)で設定した文字数を受信した時、印刷を開始します。ただし区切り記号は文字数にカウントされません。）

(5) 印刷開始コマンド文字列設定

1～20 文字の文字列で設定します。

(6) 印刷開始データ数設定

印刷開始データ数は、1～999 の値で設定が可能です。

(7) 文字コードセット選択

以下の文字コードセットのいずれかを選択します。

- JIS X 0201(日本)
- Unicode (UTF-8)

※選択可能なモデルは限られます。RJ-2XXX, TD-20XX, TD-21XX プリンターにおいては選択できません。

(8) 国際文字設定

各国別の文字セットを、以下から選択してください。

- USA
- フランス
- ドイツ
- イギリス
- デンマークⅠ
- スウェーデン
- イタリア
- スペインⅠ
- 日本
- ノルウェー
- デンマークⅡ
- スペインⅡ
- ラテンアメリカ
- 韓国
- リーガル

上記選択の国により、以下の 12 コードが切り替わります。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

切り替わる文字に関しては、「付録C: 文字コード一覧表」の「国際文字セット表」を参照してください。

(9) プレフィックス文字設定

プレフィックス文字コードを変更します。1 文字の文字コードで設定します。

プレフィックス文字とは、P-touch Template モードで使えるコマンドを識別するための先頭文字コードです。

(10) 読み捨て文字列設定

ここで指定された文字列は、データ受信時に読み捨てられます。1～20 文字の文字列で設定します。

(11) 改行コード文字列設定

改行コードとは、データ流し込み時、以降のデータをテキストオブジェクト内の次の行に移動したいときに使うコードです。改行コードを以下の 4 つの選択肢から選択するか、1～20 文字の文字列で設定します。

1. ^CR
2. ¥0D¥0A
3. ¥0A
4. ¥0D

(12) FNC1 置換設定

バーコード規格 GS1-128 (UCC/EAN-128)などに含まれる GS コードを、FNC1 コードに置き換える機能を設定します。

チェックボックスにチェックを入れると、受信した GS コードを FNC1 コードに置き換えます。チェックをはずすと、受信した GS コードはそのまま出力されます。

(13) コピー枚数設定

コピー枚数を設定します。1～99 枚まで設定可能です。

(14) 印刷品質設定

印字品質設定を行います。チェックボックスにチェックを入れると、印字品質が優先されるモードになります。チェックボックスをはずすと、スピードが優先されるモードになります。

※この設定は、品質優先設定に対応した機種でのみ有効です。

(15) カットアットエンド設定

オートカット設定が ON の場合、この設定を ON にすると、(16)で設定した枚数毎の他に、印刷終了時にもカットをします。

※この設定は、オートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

(16) カット枚数設定

1～99 枚まで設定可能です。

※この設定は、オートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

(17) オートカット設定

この設定を ON にすると、(16)で設定した枚数毎にカットをします。

※この設定は、オートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

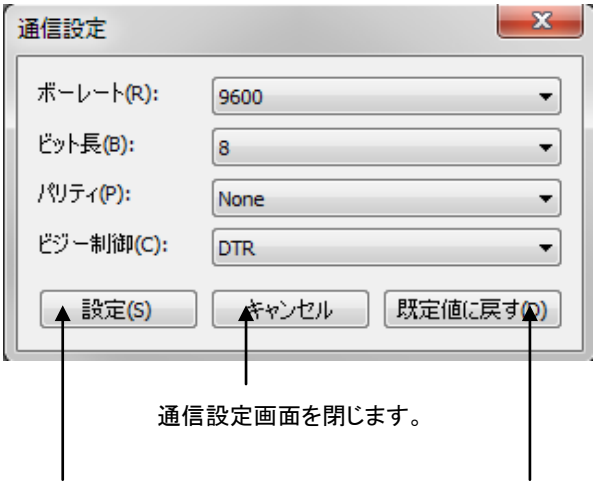
(18) 回転設定

印刷の向きを設定します。チェックボックスにチェックを入れると、排出される向きが逆になります。

(19) 通信設定

シリアル通信に関する以下の4つの設定ができます。

ボーレート	「付録 B:仕様」をご参照ください。
ビット長 (bit)	8 bit, 7 bit
パリティ	None, Odd, Even
ビジー制御	DTR, XON/XOFF



その他

・ **テキストボックス(3), (5), (9), (10), (11)への文字入力**

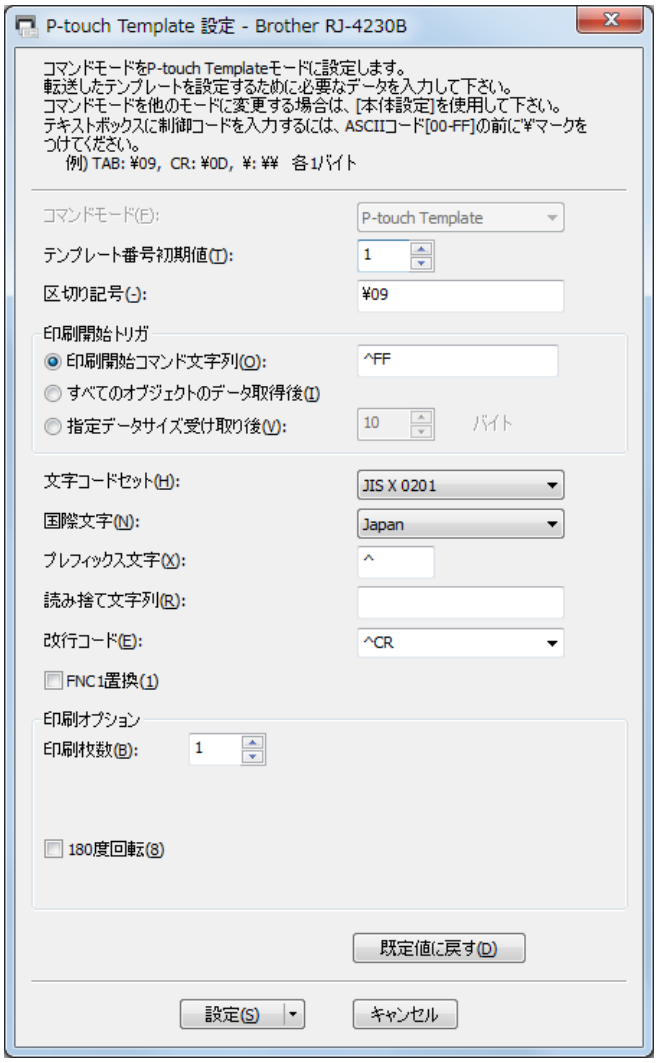
テキストで入れられる文字はテキストで入力し、制御コードなどは、¥マークを前につけてASCIIコード[00 - FF]で入力ができます。

例

PRINT	PRINT
TAB 制御コード	¥09
復帰制御コード	¥0D
¥	¥¥

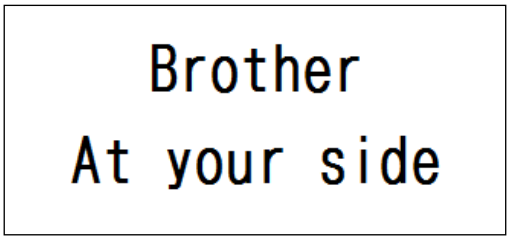
3. コマンド使用例

この項目では以下の設定をデフォルトとして記述します。



3.1 P-touch Template 2.0 の使用例

下記のようなラベルを流し込み印刷で作ってみます。



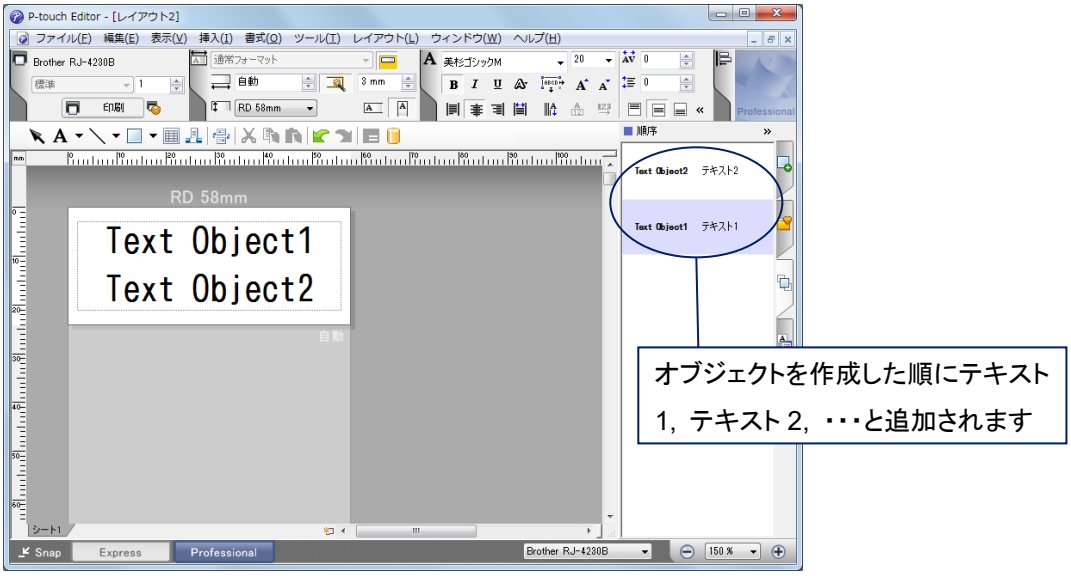
ステップ

1. P-touch Editor を用いてテンプレートを作成する
2. P-touch Transfer Manager に作成したテンプレートを転送する
3. テンプレートを P-touch Transfer Manager からプリンターへ転送する
4. P-touch Template 2.0 コマンドを使用し、印刷する

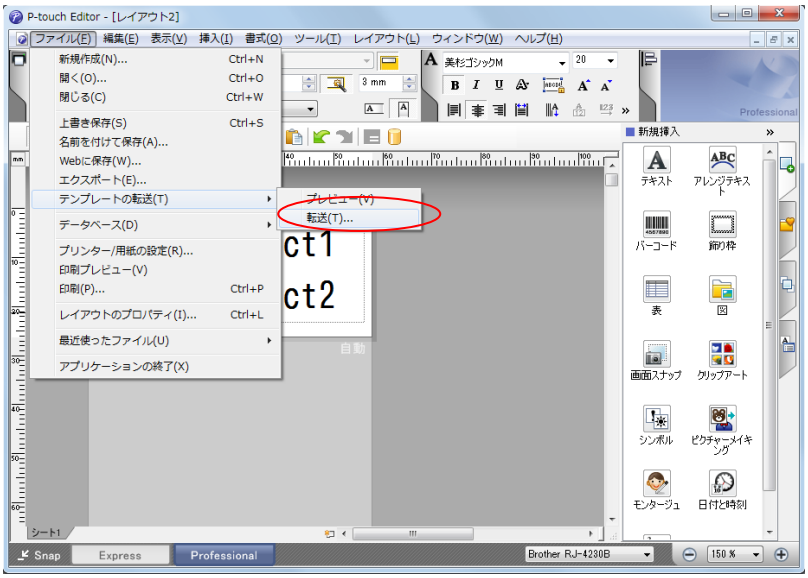
ステップ 1: P-touch Editor を用いてテンプレートを作成する

P-touch Editor を立ち上げ、ラベルを作成します。

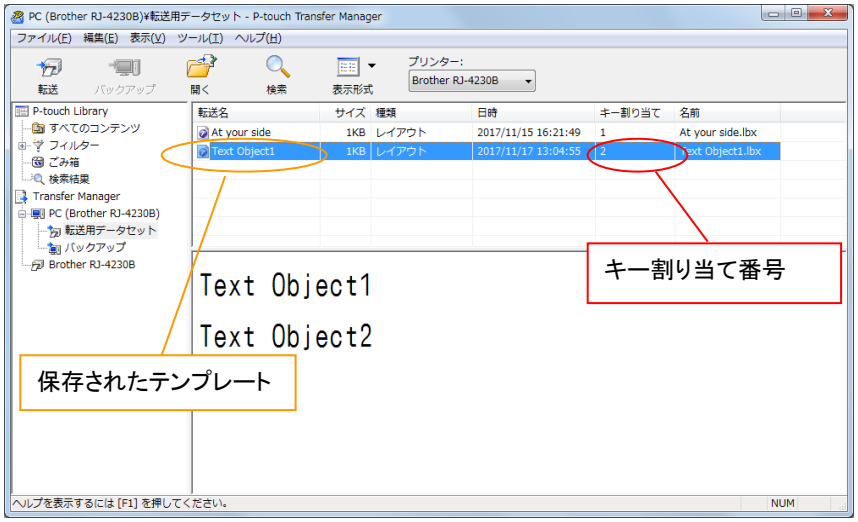
この例では、P-touch Editor は Professional モードで操作します。



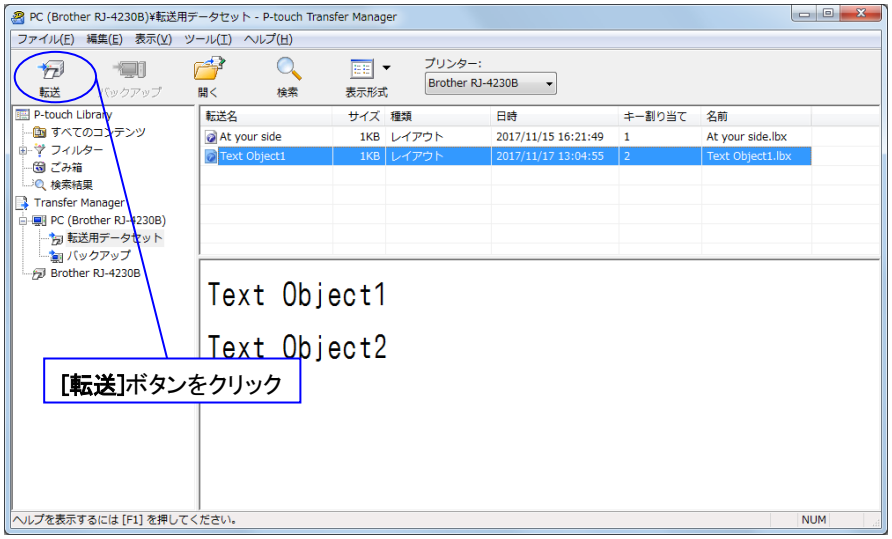
ステップ 2: P-touch Transfer Manager に作成したテンプレートを転送する



ステップ 2 で転送されたテンプレートは以下のように P-touch Transfer Manager に保存されます。
この例では、既に別のテンプレートをキー割り当て番号 1 番で転送している状態を想定し、キー割り当て番号は 2 番とします。



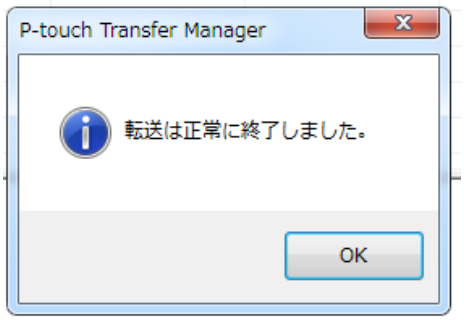
ステップ 3: テンプレートを P-touch Transfer Manager からプリンターへ転送する



注意:

P-touch Transfer Manager を使用する前に、必ずプリンターの電源を ON にして USB により PC と接続しておいてください。さらに、通信設定は必ず双方向通信としてください。

プリンターにテンプレートが転送されると、以下のようなメッセージが表示されます。



ステップ 4: P-touch Template 2.0 コマンドを使用し、印刷する

(1) P-touch テンプレートモードの初期化

デフォルト設定に戻す為、一度初期化します

^II　　初期化

ASCII:	^	I	I
10 進:	94	73	73
16 進:	5E	49	49

パラメーター

なし

入力コマンド

^II

(2) テンプレート番号の選択

ステップ 2 で設定されたキー割り当て番号である 2 番を設定します。

^TS　　テンプレート選択設定

ASCII:	^	T	S	n1	n2	n3
10 進:	94	84	83	n1	n2	n3
16 進:	5E	54	53	n1	n2	n3

パラメーター

0≦n1≦2

0≦n2≦9

0≦n3≦9

入力コマンド

^TS002

(3) 流し込みデータの作成

実際に印字するデータを流し込みます。

1 つ目のオブジェクトに印字するデータ、区切り記号、2 つ目のオブジェクトに印字するデータの順となります。

入力コマンド

Brother
0x09
At your side

(4) 印刷開始

^FF　　印刷開始

ASCII:	^	F	F
10 進:	94	70	70
16 進:	5E	46	46

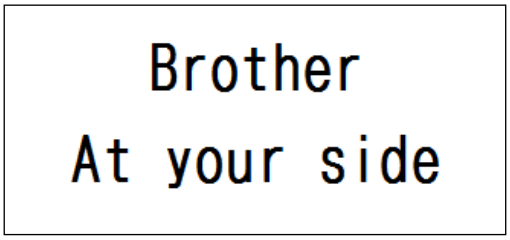
パラメーター

なし

入力コマンド

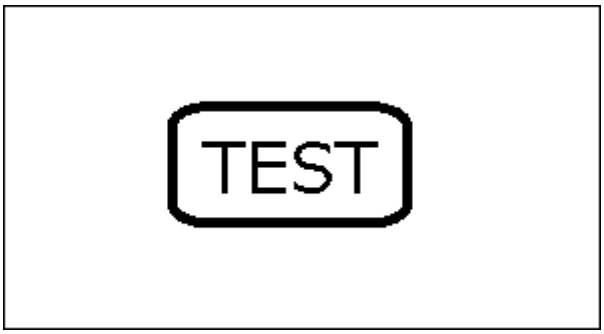
^FF

プリンターが上記のコマンドを受信すると、以下のラベルが印刷されます。



3.2 P-touch Template 2.0 ロゴ/外字(ビットマップ) 使用例

下記のようなラベルを作成します。

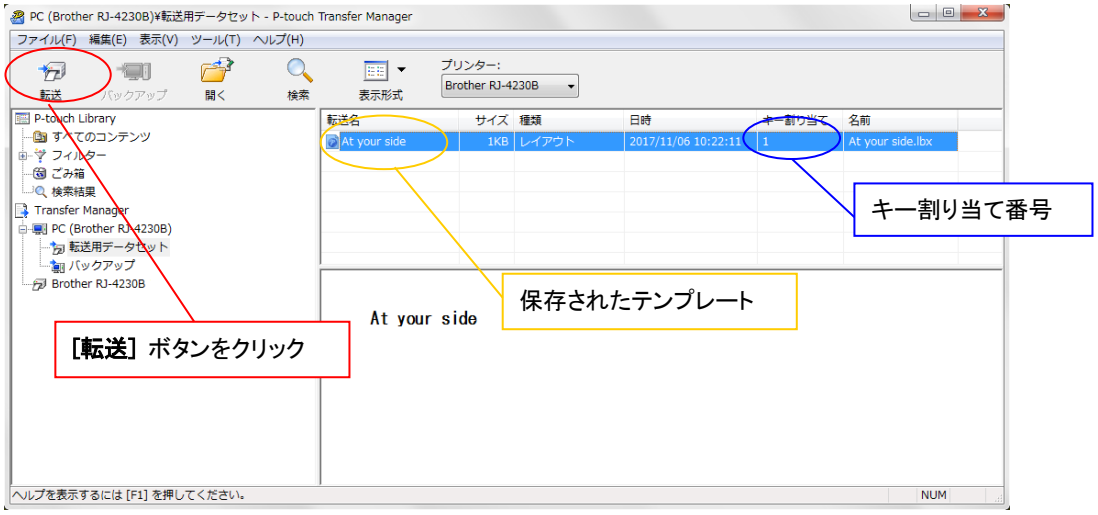


ステップ

1. テンプレートを作成し、プリンターへ転送する
2. 印刷したいロゴ/外字をビットマップ形式で作成し、プリンターに転送する
3. P-touch テンプレートコマンドを使用し、印刷する

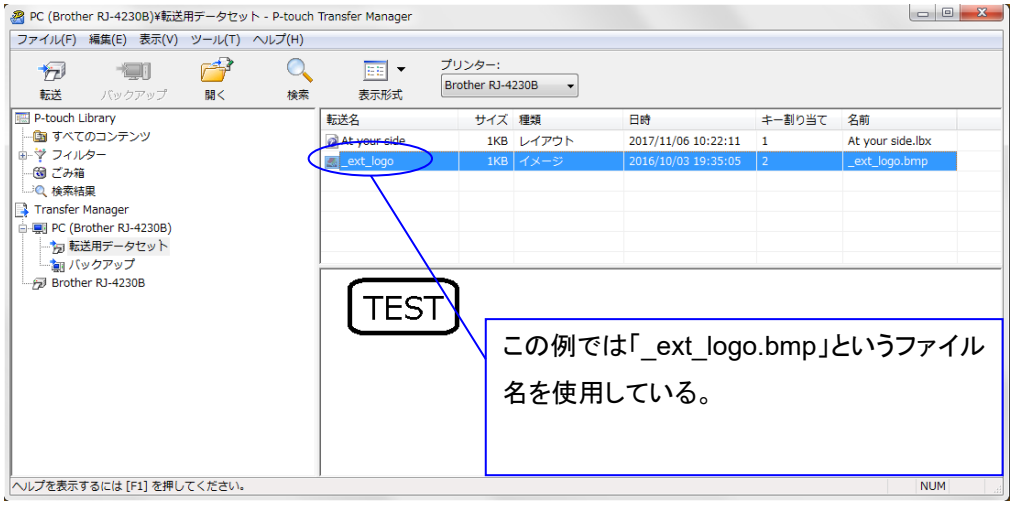
ステップ 1: テンプレートを作成し、プリンターへ転送する

テキストオブジェクトを1つ含む任意のテンプレートを作成し、転送します。



ステップ 2: 印刷したいロゴ/外字をビットマップ形式で作成し、プリンターに転送する

印刷したいビットマップファイルを P-touch Transfer Manager にドラッグ＆ドロップすることでリストに追加します。ファイル名の先頭には“_ext_”をつけてください。



[転送] ボタンをクリックし、プリンターに転送します。

ステップ 3: P-touch テンプレートコマンドを使用し、印刷する

(1) P-touch テンプレートモードの初期化

^II　　初期化

ASCII:	^	I	I
10 進:	94	73	73
16 進:	5E	49	49

パラメーター

なし

入力コマンド

^II

(2) 印刷したいビットマップファイルの選択

ビットマップファイルのキー割り当て番号を選択するためには、特定の文字「¥」が必要です。
また、ビットマップファイルのキー割り当て番号を指定する際、ステップ 2 で表示された数字から 1 を引く必要があります。
ステップ 2 ではビットマップファイルのキー割り当て番号が「2」なので、入力コマンドは「¥01」となります。

入力コマンド

¥01

(3) 印刷開始

^FF　　印刷開始

ASCII:	^	F	F
10 進:	94	70	70
16 進:	5E	46	46

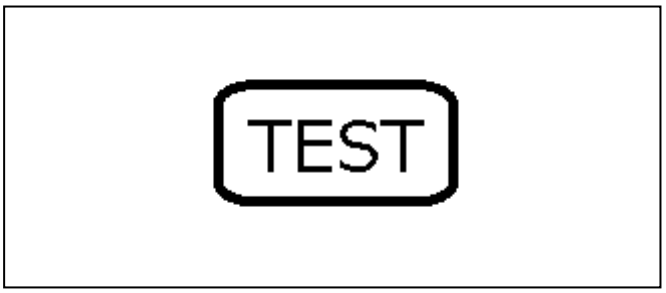
パラメーター

なし

入力コマンド

^FF

上記のコマンドをプリンターに送信することで、以下のラベルが印刷されます。



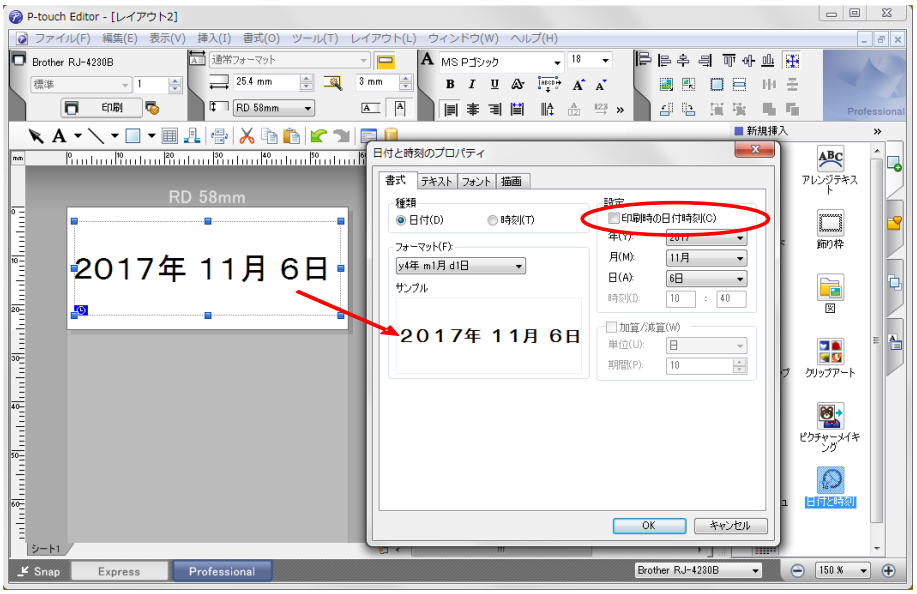
4. P-touch Template 2.0 制限事項

4.1 テキストオブジェクトに関して

4.1.1 フォント、サイズ等

「5.3 P-touch Editorの設定と本体イメージの相関表」も併せてご参照ください。

- P-touch Editor で設定したフォントは、プリンター本体転送時、プリンター本体内蔵の近いフォントに変換されます。
- P-touch Editor で設定した文字サイズは、プリンター本体転送時、プリンター本体内蔵の近いサイズに変換されます。
- P-touch Editor で設定した文字サイズは、オブジェクト内で全て同じサイズになります。
- テキストオブジェクトで使用される文字コードセットは、転送に使用する PC の言語環境に依存します。
- 「¥」は外字番号指定用の制御文字として使用されます。「¥¥」と入力することで文字としての「¥」が使用できます。
- 日本の文字データ入力は、文字コードセットの設定で変わります。Unicode(UTF-8)設定時は UTF-8、それ以外を設定時は ShiftJIS に対応しています。
- P-touch Editorで設定したタイムスタンプは、「印刷時の日付時刻」設定が無の場合は、P-touch Editorで作成時の日時で印刷されます。「印刷時の日付時刻」設定が有の場合、時計機能が搭載されているモデルは印刷時の時刻が印刷されます。時計機能が搭載されていないモデルは空白印刷されます。



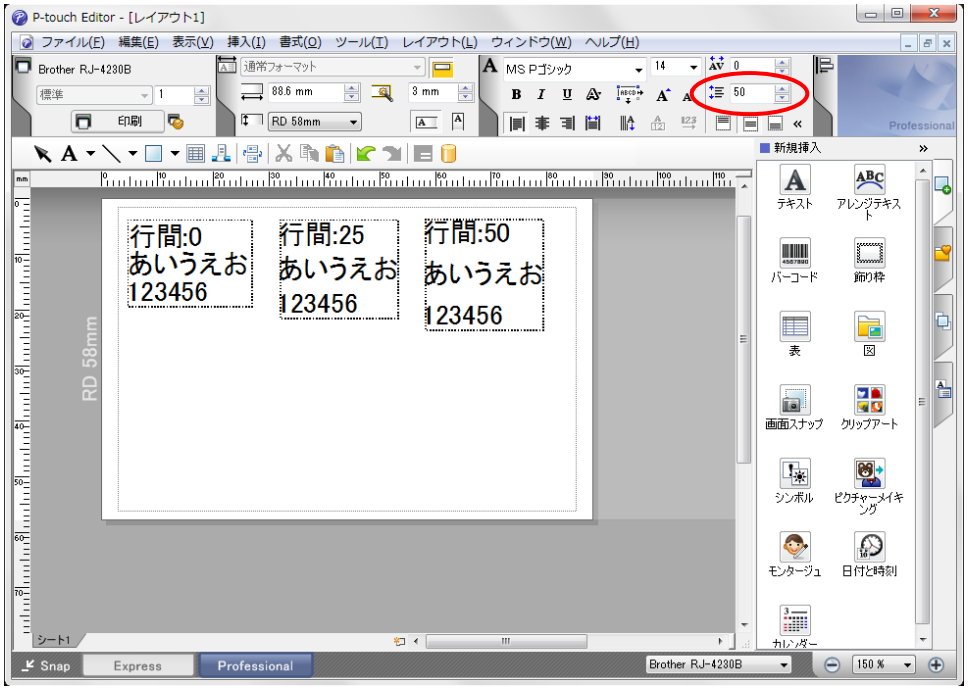
「印刷時の日付時刻」の設定箇所

P-touch Editor で、「日付と時刻のプロパティ」の「印刷時の日付時刻」の設定を解除するには、日付と時刻オブジェクトのプロパティを開き、「印刷時の日付時刻」チェックボックスを OFF にします。

4.1.2 文字の配置について

- P-touch Editor で設定した水平配置(「均等揃え」、「両端揃え」)設定は、左寄せに変換されます。
- P-touch Editor で設定した改行時の行間設定有効範囲は、0～255 ドットです。

  P-touch Editor の行間設定には、マイナスの値を使用しないでください。また、プリンター本体の行幅に上限があるため、P-touch Editor でそれより大きな行間設定を行ってもプリンター本体には反映されません。



P-touch Editor での行間設定方法

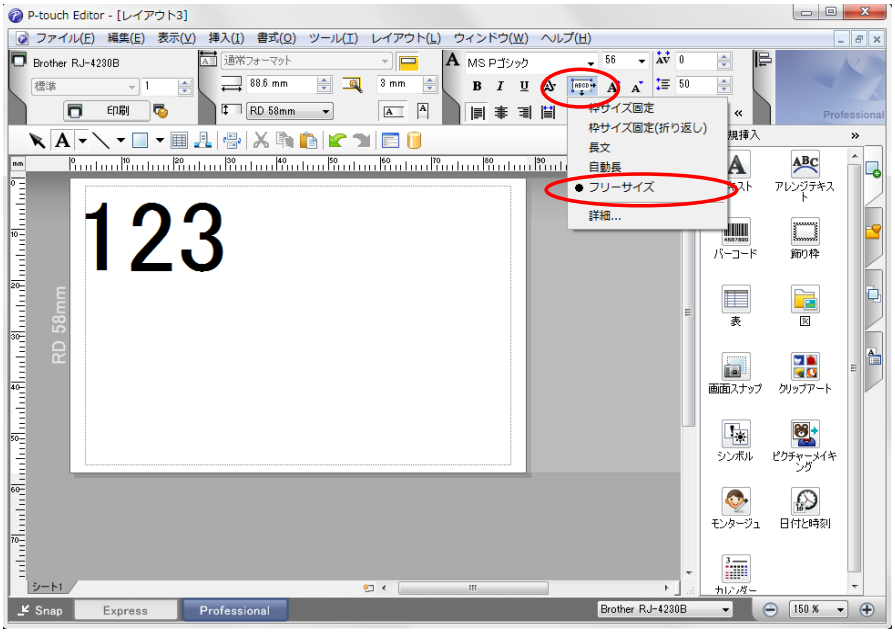
4.1.3 文字の装飾、レイアウト

- P-touch Editor で設定した文字装飾は、オブジェクト内で全て同じ装飾になります。
- P-touch Editor で設定したテキストオプションが「長文」の時、*付録 B: 仕様「水平位置」の位置に配置されます。
- P-touch Editor で設定したテキストオプションが「長文」で、かつ長尺テープを使用した場合、テキストに合わせて印刷長がのびます。
- P-touch Editor で設定したテキストオプションの「テキストを折り返す」は、オブジェクトサイズが固定で文字は縮小されます。

  「テキストを折り返す」はもともと長い文章を挿入するために追加されたモードであり、「テキストを折り返す」機能をなくしてしまうと極端に文字サイズが小さくなる可能性があります。

  そのため P-touch Editor では、用紙が固定サイズまたは定長が設定されている場合は「枠サイズ固定」、用紙にオート長が設定されているときは「自動長」を推奨します。

縮小して全体を表示	テキストオブジェクトサイズが固定になります。 テキストサイズがテキスト長さにより変更されます。
はみ出した部分は クリップする	テキストオブジェクトサイズ及びテキストサイズが固定になります。 テキストが長い場合は、印刷されません。
長文	テキストオブジェクト幅とテキストサイズは固定です。 テキストが長い場合には、自動的に改行し垂直方向にのびます。
自動長	テキストオブジェクト高さとテキストサイズは、固定です。 テキストが長い場合は、テキストオブジェクトの幅がのびます。
フリーサイズ	テキストサイズが固定です。テキストが長い場合は、テキストオブジェクトの幅がのびます。改行されたら垂直方向にのびます。



テキストオプション（文字の制御）の設定方法

赤丸で囲んだコントロールをクリックすると、選択肢がドロップダウンで表示され、その中から選択します。

- テキストデータの前後に装飾タグを入れて流し込むことで、特定のテキストのみを装飾することができます。
  装飾タグの対応は、以下のとおりです。

装飾種	装飾タグ*	
	開始タグ	終了タグ
太字		
下線	<u>	</u>

  *装飾タグ文字列がデフォルトの場合の設定です。

  使用例) テキストオブジェクトに、テキスト"AAABBB<u>CCC</u>"を流し込んだ場合。

  印刷結果: AAA**BBB**<u>CCC</u>

- 装飾タグを使用する場合、開始タグ・終了タグの両方を必ず入れてください。
- 装飾タグを使用する場合、1 行ごとに装飾タグを入れてください。装飾タグの途中で改行された場合、改行後のテキストは装飾されません。
- 装飾タグは、テキストオブジェクトでのみ使用可能です。
- ナンバリング範囲内の装飾タグは無効です。

4.2 バーコードに関して

4.2.1 バーコード（全体）

- プリンター本体の対応していないバーコードを含むテンプレートを転送しようとすると、転送時にエラーになりプリンター本体に転送できません。プリンター本体が対応しているバーコードは、以下のとおりです。

1 次元バーコード	CODE39, ITF (I-2/5), UPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128) , GS1 Databar(RSS), POSTNET, Intelligent Mail Barcode
2 次元バーコード	PDF417, QR Code, Data Matrix, MaxiCode, Aztec, GS1 Databar Composite

※機種ごとのバーコードの対応状況については、「付録 B:仕様」を参照してください。

- バーコードオブジェクトにデータを流し込んだとき、規格外の文字があった場合は、そのバーコードオブジェクトは印刷されません。
- バーコードの大きさは、P-touch Editor からの印刷結果とは異なる場合があります。
- CODE128／GS1－128（UCC/EAN-128）は、大きめに印刷されやすいので、P-touch Editor でテンプレートを作成時に、余白を多めに入れることを推奨します。
- P-touch Editor で作成時のテンプレートより、データの流し込みで印刷領域に収まらないサイズのバーコードが出来た場合、バーコードは印刷されません。ただし、無定長ラベルのテンプレートでは、印刷方向に印刷領域を超えるサイズの場合、バーコードが印刷されます。
- バーコードデータの直前、直後に改行を入れないでください。バーコードデータの一部とみなされ、改行コードも含んだバーコードが作成される、またはバーコード規格外のデータが入力されたとして、バーコード部分の印刷が空白になります。
- バーコードデータの直後は、区切り記号、もしくは印刷開始文字列を入れてください。

4.2.2 1 次元バーコードについて

- 横幅が、22.5cm を超えるバーコードは、印刷されません。
- 1164 ドット以上の高さの 1 次元バーコードを作成しても 1164 ドットに変換されます。
- 規格ごとの入力文字数は以下のとおりです。

CODE39	1～50 文字（両サイドの＊は含まれない） データ流し込み時、データの先頭と最終の＊は読み飛ばします。
ITF (I-2/5)	1～64 文字 P-touch Editor で設定したベアラバー設定は無効です。
EAN-8	7 文字
EAN-13	12 文字
UPC-A	11 文字
UPC-E	6 文字
CODABAR	3～64 文字（先頭と終了は A、B、C、D のいずれか）
CODE128	1～64 文字
GS1-128 (UCC/EAN-128)	1～64 文字
GS1 Databar (RSS-14)	3～15 文字（先頭は”01”）
GS1 Databar (RSS Limited)	3～15 文字（先頭は”01” 3 桁目は”0” または”1”）
GS1 Databar (RSS Expanded)	数字 1～64 桁、英数字（※）1～40 文字
POSTNET	5 文字, 9 文字, 11 文字
Intelligent Mail Barcode	20 文字、25 文字、29 文字、31 文字(2 桁目は”0”～”4”)

※ISO646 で規定された印字可能文字

<< 数字、英文字、スペース、!、”、%、&、’、(、)、*、+、,、-、.、/、:、;、<、=、>、?、_ >>

上記の範囲を超えて転送しようとすると、転送時にエラーになります。データの流し込みは、下限値に満たない場合は、印刷されません。上限値を超えた場合は、上限値までのデータを有効とします。

4.2.3 2 次元バーコードについて

- P-touch Editor で設定した余白設定は無効です。余白設定は、バーコード余白有無設定コマンド(ESC iXE2)でのみ設定できます。
- その他の制限事項は以下のとおりです。

QR Code	P-touch Editor で設定した QR コードのバージョン設定は無効です。バージョン設定は、OFF にしてください。 P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。 QR コードバージョン設定コマンドにより設定された値が範囲外の時、AUTO に変換されます。（MODEL1:0～14、MODEL2:0～40、マイクロ QR:0～4）
PDF417	P-touch Editor で設定した PDF417 のエラー訂正レベルは、本体と一致しないため、P-touch Template での印刷時に、バーコードの大きさが変わることがあります。 P-touch Editor で設定した PDF417 の幅で、中は小に変換されます。 P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。
Data Matrix	P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。 P-touch Editor で設定したマクロ設定は無効です。
MaxiCode	P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。 データがオーバーした時、連結します。 P-touch Editor で国コードとサービスクラスを設定すると、指定文字に達しない時は前詰めになりますが、本体は後ろ詰めになります。 (例) 2 を設定→P-touch Editor:「200」 本体:「002」
Aztec	P-touch Editor で設定した除去する文字は無効です。 P-touch Editor で設定した連結の設定のうち、連結間隔と縦連結は無効です。 データを流し込む場合、メッセージ ID とデータの間には「00」を入れてください。メッセージ ID を含まない場合、データ先頭に「00」を付けてください。
GS1 Databar Composite	以下のモデルに対応しています。 - GS1 Databar Omni CC-A/CC-B - GS1 Databar Truncated CC-A/CC-B - GS1 Databar Stacked CC-A/CC-B - GS1 Databar StackedOmni CC-A/CC-B - GS1 Databar Limited CC-A/CC-B - GS1 Databar Expanded CC-A/CC-B - GS1 Databar Expanded Stacked CC-A/CC-B P-touch Editor で設定した下部文字設定は無効です。 データを流し込む場合、P-touch Editor で設定した「データの先頭に 01 をつける」設定は無効です。データ先頭に「01」を付けてください。 また、1 次元データと 2 次元データは"|"で区切ってください。 (例)1 次元データ「12345」と 2 次元データ「67890」を流し込む場合 流し込みデータ:「0112345|67890」

4.3 イメージに関して

- P-touch Editor で、イメージが重なり合ったテンプレートを転送した場合、全てのイメージデータは重ねあわされます。(P-touch Editor はデフォルトでは後で作ったものが上に表示されます。)

4.4 ナンバリングに関して

- 1 つのオブジェクト内で、有効なナンバリング指定範囲数は 1 つです。
- ナンバリング最大桁数は 15 桁です。
- 印刷後のナンバリングオブジェクトの内容は、ナンバリング指定範囲のみ保存されます。
- ナンバリングオブジェクトの文字数より流し込んだ文字数が少ない場合、正常に印刷されない場合があります。
- ナンバリング指定範囲内に改行がある場合は、改行以降の文字列はオブジェクトから削除されます。

  注意:

  ナンバリングオブジェクトとはナンバリング指定されたテキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトを意味します。

4.5 データベースに関して

- データベース名は、転送時にファイル名＋シート名(エクセルの場合)で命名します。
- ファイル名は 15 バイト(1 バイト文字で 15 文字、2 バイト文字で 7 文字)までとなります。
- 最大 255 個のデータベースを転送できます。ただし、転送容量が ユーザー領域サイズ* を超えた時点で転送できなくなります。 (*付録 B: 仕様 参照)
- 置き換え検索文字のセルに改行がある場合は、改行までの文字列が置き換え検索文字となります。
- 置き換え検索文字は、256 文字まで有効です。
- データベースの最大行数はタイトル行を含め 65000 行です。65000 行を超えるデータベースを転送した場合、65000 行を超えた部分のデータは削除されます。
- データベースの最大列数は 100 列です。100 列を超えるデータベースを転送した場合、100 列を超えた部分のデータは削除されます。
- テンプレートを印刷する時に、接続されたデータベースが無い場合や、置き換え検索で該当する文字が見つからなかった場合は、エラーとなります。
- テンプレートを印刷する時に、接続した列がデータベースに無い場合、これらの列に関連するオブジェクトはデフォルトになります。
- データベースで使用される文字コードセットは、転送に使用する PC の言語環境に依存します。

4.6 その他

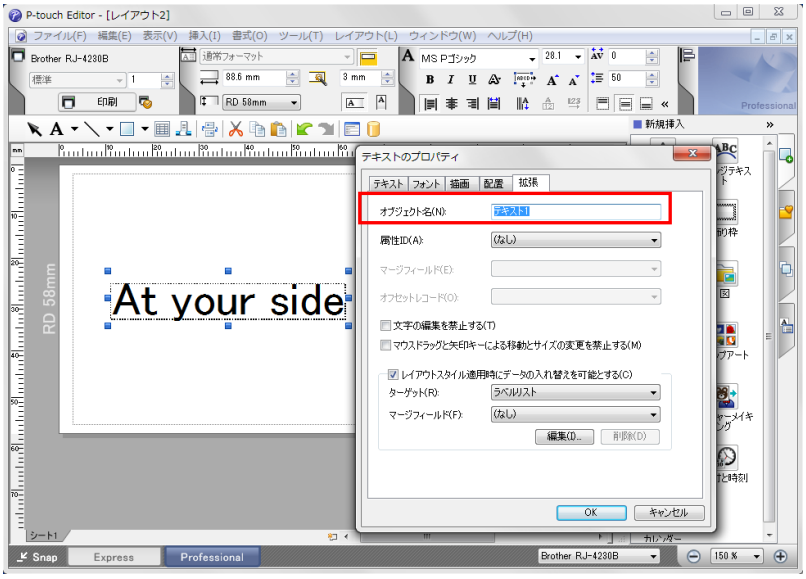
4.6.1 テンプレートの転送について

- 最大転送テンプレート数は 255 個です。ただし転送容量が ユーザー領域サイズ* を超えた時点で転送できなくなります。 (*付録 B: 仕様 参照)
- 1 テンプレートの最大オブジェクト数は 255 個です。
- 印刷データを流し込む場合は、コマンドモードを、P-touch Template モードにしてください。
- 本体にテンプレートを転送すると、動的コマンドで設定した値は、全て初期化されます。
- スプリットラベルには、対応していません。
- P-touch Editor から印刷した後、コマンドモードは初期値に戻ります。テンプレート印刷を行うには、本体設定ツールで P-touch Template モードにするか、直前のモードが、本体設定ツールで P-touch Template モードにしていたならば、電源 OFF/ON すれば、P-touch Template モードに戻ります。

4.6.2 テンプレート内のオブジェクト

- 印刷データの改行コード(0D0A、0D、0A)は読み捨てます。ただし、区切り記号や印刷開始文字列、改行コマンドなど、特別なデータ列として設定された場合はそれらに従います。
- オブジェクトの順番は、オブジェクト名の下位から 4 ケタ分の数字のみ有効として、順番が決定されます。数字がない場合は、一番最後の順番になります。同じ番号の場合は、テキスト、1 次元バーコード、2 次元バーコードの優先順位で番号を決定し、オブジェクトも同じ場合は、その中で最初に作ったものを先の順番にします。順番を示す数字をオブジェクト名の後ろに入れることを推奨します。

（P-touch Editor でオブジェクト名を設定するには、テキストおよびバーコード各オブジェクトのプロパティを表示し、「拡張タブ」の「オブジェクト名」欄に名前を設定してください。）



オブジェクト名の設定箇所

5. 注意事項

5.1 静的コマンド使用時のご注意

静的コマンドは、共通コマンドとラスターモードのみで有効であるコマンドの 2 種類が存在します。
例えば、ラスターモードのみで有効なコマンドを使用する場合は、下記のようにモードを変更してから、コマンドを送信してください。

(1) ラスターモードに切り替えます。
ESC i a 01h　(1Bh 69h 61h 01h)

(2) 全角スペース幅調整を有効に設定します。
ESC i O U D 1 01h　(1Bh 69h 4Fh 55h 44h 31h 01h)

(3) 動的に、P-touch Template モードに変更します。
ESC i a 03h　(1Bh 69h 61h 03h)

※ラスターモードのみで有効なコマンドの種類については、「6.3 各種設定コマンド（ラスターモード専用）」を参照してください。

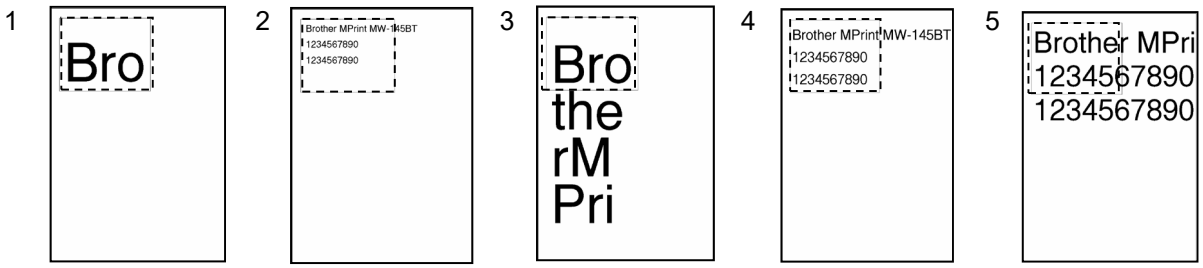
5.2 Bluetooth使用時(オプション)のご注意

Bluetooth で接続する場合、ポートをオープンした直後は、プリンターの準備が整っていないことがあります。印刷データを送る場合、ポートオープン後に 500 ms 以上待ってから、データを送り始めてください。
また、複数ページの印刷をする場合などで、ポートのクローズとオープンが連続して行われる場合には、ポートをクローズした後に 500 ms 以上待って次のポートオープンを行ってください。
1 ページ分の印刷データを送信後、印刷が完了するまで Bluetooth ポートは閉じないでください。

5.3 P-touch Editor の設定と本体イメージの相関表

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">P-touch Editor の設定
テキストオプション（文字の制御）</th><th colspan="4">本体イメージ</th><th rowspan="3">印刷
イメージ</th></tr>
<tr><th colspan="2">横</th><th colspan="2">縦</th></tr>
<tr><th>制御モード</th><th>詳細
文字の制御</th><th>テキストを
折り返す</th><th>オブジェクトサイズ</th><th>文字サイズ</th><th>オブジェクトサイズ</th><th>文字サイズ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">枠サイズ
固定</td><td colspan="2">はみ出した部分は
クリップする</td><td>「固定」
オブジェクトサイズの横からはみ出た文字は印刷しない</td><td>「固定」</td><td>「固定」
オブジェクトサイズの縦からはみ出た文字は印刷しない</td><td>「固定」</td><td>1
（下記参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">縮小して全体を表示する</td><td rowspan="4">「固定」
最小サイズの場合横方向はみ出る</td><td rowspan="4">「オート」
オブジェクトサイズに合わせて文字サイズを最大サイズに調整する</td><td rowspan="4">「固定」
最小サイズの場合縦方向はみ出る</td><td rowspan="4">「オート」
オブジェクトサイズに合わせて文字サイズを最大サイズに調整する</td><td rowspan="4">2
（下記参照）</td></tr>
<tr><td>はみ出した部分はクリップする</td><td>チェック</td></tr>
<tr><td>縮小して全体を表示する</td><td>チェック</td></tr>
<tr><td>枠サイズ
固定
(折り返し)</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>長文</td><td colspan="2">－</td><td>「固定」
オブジェクトサイズの横からはみ出た文字は自動改行する</td><td>「固定」</td><td>オブジェクトサイズの縦からはみ出た文字も印刷する</td><td>「固定」</td><td>3
（下記参照）</td></tr>
<tr><td>自動長</td><td colspan="2">－</td><td>オブジェクトサイズの横からはみ出た文字も印刷する</td><td>「固定」</td><td>「固定」
最小サイズの場合縦方向はみ出る</td><td>「オート」
オブジェクトサイズに合わせて文字サイズを最大サイズに調整する</td><td>4
（下記参照）</td></tr>
<tr><td>フリー
サイズ</td><td colspan="2">－</td><td>オブジェクトサイズの横からはみ出た文字も印刷する</td><td>「固定」</td><td>オブジェクトサイズの縦からはみ出た文字も印刷する</td><td>「固定」</td><td>5
（下記参照）</td></tr>
</table>

印刷イメージ



5.4 印刷までの時間を速くするテンプレートの作成方法

- 変更しないオブジェクトは下記の手順でイメージにしてください。

- **[Text のプロパティ]－[拡張]**の**「文字の編集を禁止する」**をチェックするとオブジェクトがイメージになります。
- **[Text のプロパティ]－[拡張]**がない場合は、**[ツール]－[オプション]－[全般]－[その他]**の**「オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示」**をチェックしてください。

- 文字サイズが固定になるように、テキストオプション（文字の制御）を設定してください。

6. コマンド対応一覧

6.1 P-touchTemplate コマンド

コマンド	名称	備考
^II	初期化	
^TS	テンプレート選択設定	
^FF	印刷開始	
^CN	コピー印刷枚数設定	
^NN	ナンバリング印刷枚数設定	
^ID	テンプレートデータ初期化	
^PT	印刷開始トリガー選択	
^PS	印刷開始コマンド文字列設定	
^PC	印刷開始受信文字数設定	
^SS	区切り記号指定	
^CO	カットオプション設定	カッター非搭載モデルは非対応
^LS	改行時の行間設定	
^CC	プレフィックス文字の変更	
^RC	改行コマンド文字列設定	
^QS	印刷オプション設定	TD-20XX, TD-21XX のみ対応
^QV	QR コードバージョン設定	
^FC	FNC1 置換設定	
^OP	本体動作実行 (フィード)	
^SR	ステータスリクエスト	
^VR	バージョン情報取得	
^CR	オブジェクト内での改行	
^OS	オブジェクト選択設定 (オブジェクト番号)	
^ON	オブジェクト選択設定 (オブジェクト名)	
^DI	オブジェクト直接挿入	

注意:

***上記コマンドは、P-touch Template モードにて、使用してください。**

***ラスターモードおよび、ESC/P モードでは使用できません。**

6.2 各種設定コマンド　（モード共通）

コマンド	名称	備考
ESC iXT	印刷開始トリガー設定	
ESC iXP	印刷開始コマンド文字列設定	
ESC iXr	印刷開始受信文字設定	
ESC iXD	区切り記号設定	
ESC iXa	読み捨て文字列設定	
ESC iXi	コマンドモード設定	
ESC iXn	テンプレート選択設定	
ESC iXf	プレフィックス文字変更	
ESC iXc	カットオプション設定	カッター非搭載モデルは非対応
ESC iXy	一定枚数ごとのカット枚数設定	
ESC iXm	文字コードセット選択	
ESC iXj	国際文字設定	
ESC iXR	改行コマンド文字列設定	
ESC iXC	コピー印刷枚数設定	
ESC iXN	ナンバリング印刷枚数設定	
ESC iXF	FNC1 置換設定	
ESC iXq	印刷オプション設定	TD-20XX, TD-21XX のみ対応
ESC iXd	リカバリー有無設定	
ESC iXE	バーコード余白有無設定	
ESC iXh	印刷方向設定	
ESC iX^	印刷停止位置指定	TD-20XX, TD-21XX は非対応
ESC iXv (08h)	Network Raw ポート通信設定	
ESC iXv (0Ch)	リカバリー回数設定	
ESC iXu (04h)	ジョブノンストップ印刷有効/無効設定	
ESC iXu (80h)	ZPL II emulation モード印刷長設定	
ESC iDC1SQ(01h)	自己印刷 QR コード内容設定	RJ-3XXX のみ対応
ESC iDC1SQ(00h)	自己印刷 QR コード内容取得	RJ-3XXX のみ対応
ESC iDC1SR(01h)	設定変更ロック設定	RJ-3XXX, TD-23XX のみ対応
ESC iDC1SR(00h)	設定変更ロック取得	RJ-3XXX, TD-23XX のみ対応
ESC iDC2 3 0	媒体設定余白無視設定	TD-23XX のみ対応

6.3 各種設定コマンド （ラスターモード専用）

コマンド	名称	備考
ESC iOUD	全角スペース幅調整有無設定	
ESC iOUe	装飾タグ文字列設定	

注意：

***上記コマンドは、ラスターモードで使用してください。**

***ラスターモード以外では使用できません。**

6.4 プリンター制御コマンド

コマンド	名称	備考
ESC ia	コマンドモード設定	
ESC iUx	再起動	

7. P-touch Template コマンド詳細

^II　　初期化

ASCII:	^	I	I
16 進:	5E	49	49

パラメーター

なし

説明

- 動的設定値を全て本体設定値に戻します。

(1)	印刷開始トリガーの選択項目
(2)	印刷開始コマンドの文字列
(3)	印刷開始受信文字数
(4)	区切り記号
(5)	テンプレート選択番号
(6)	プレフィックス文字
(7)	改行コマンド文字列設定
(8)	コピー印刷枚数設定
(9)	ナンバリング印刷枚数設定
(10)	QR コードバージョン設定
(11)	FNC1 置換設定

^TS　　テンプレート選択設定

ASCII:	^	T	S	n1	n2	n3
16 進:	5E	54	53	n1	n2	n3

パラメーター

0≦n1≦2

0≦n2≦9

0≦n3≦9

説明

- 本体で選択しているテンプレートを指定番号にします。

  (n1*100)+(n2*10)+n3: テンプレート番号(1～255)
- 本体選択番号のデフォルト値は、1 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 設定可能なテンプレート番号は、1～255 です。

  それ以外の数値を設定しようとした場合または本体に転送されていない番号を指定した場合は無効になります。

コマンド例

- 選択テンプレート番号を 99 にする場合。

  n1=0、n2=9、n3=9 になるため、コマンドは以下のようになります。

```
^ T S 0 9 9
(5Eh 54h 53h 30h 39h 39h)
```

^FF　　印刷開始

ASCII:	^	F	F
16 進:	5E	46	46

パラメーター

なし

説明

- 印刷を開始します。
- 但し、印刷開始トリガーが“設定されている文字列受信時”である場合に使用できます。
  （^PT、ESC iXT2 参照）
- 印刷開始コマンド文字列は変更することが可能です。
  （^PS、ESC iXP2 参照）

コマンド例

- テンプレート番号 3 を印刷する場合。

```
^ＴＳ００３^ＦＦ
(5Eh 54h 53h 30h 30h 33h 5Eh 46h 46h)
```

^CN　　コピー印刷枚数設定

ASCII:	^	C	N	n1	n2	n3
16 進:	5E	43	4E	n1	n2	n3

パラメーター

0≦n1≦9

0≦n2≦9

0≦n3≦9

説明

- コピー印刷枚数を設定します。

  (n1*100)+(n2*10)+n3:　コピー印刷枚数（バイト）(1～999)
- コピー印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 印刷が終了すると、このコマンドで設定した枚数は、本体に設定されている枚数（静的値）に戻ります。

コマンド例

- コピー印刷枚数を 100 枚に変更する場合。

  n1=1、n2=0、n3=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

```
^ C N 1 0 0
(5Eh 43h 4Eh 31h 30h 30h)
```

^NN　　ナンバリング印刷枚数設定

ASCII:	^	N	N	n1	n2	n3
16 進:	5E	4E	4E	n1	n2	n3

パラメーター

0≦n1≦9

0≦n2≦9

0≦n3≦9

説明

- ナンバリング印刷枚数を設定します。

  (n1*100)+(n2*10)+n3:　ナンバリング印刷枚数（バイト）(1～999)
- ナンバリング印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 印刷が終了すると、このコマンドで設定した枚数は、本体に設定されている枚数（静的値）に戻ります。

コマンド例

- ナンバリング印刷枚数を 100 枚に変更する場合。

  n1=1、n2=0、n3=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

```
^ N N 1 0 0
(5Eh 4Eh 4Eh 31h 30h 30h)
```

^ID　　テンプレートナンバリングデータ初期化

ASCII:	^	I	D
16 進:	5E	49	44

パラメーター

なし

説明

- 選択しているテンプレートのナンバリング情報をテンプレート転送時の状態に戻します。

^PT　　印刷開始トリガー選択

ASCII:	^	P	T	n
16 進:	5E	50	54	n

パラメーター

1≦n≦3

説明

- 印刷開始トリガーの種類を選択します。

  n=1:　設定されている文字列受信時（デフォルト）

  n=2:　全てのオブジェクトが埋まったとき
  （最後のデータ後の区切り記号で印刷）

  n=3:　設定されている文字数受信時
  （区切り記号は、含まれない。）

- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- n が 1～3 以外の値の場合は無効になります。

コマンド例

- 印刷開始トリガーを“全てのオブジェクトが埋まったとき”にする場合。

```
^ P T 2
(5Eh 50h 54h 32h)
```

^PS　　印刷開始コマンド文字列設定

ASCII:	^	P	S	n1	n2	data
16 進:	5E	50	53	n1	n2	data

パラメーター

0≦n1≦2

0≦n2≦9

00h≦data≦FFh

説明

- 印刷開始コマンドの文字列を設定します。

  (n1*10)+n2:　文字列の長さ（1～20 まで設定可能）

  data:　文字列（設定可能最大文字数は 20 文字（バイト））
- 印刷開始コマンドのデフォルト文字列は“^FF”です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効です。

コマンド例

- 印刷開始コマンド文字列を“START”に変えたい場合。

  設定する文字列(data)は“START”と、5 文字であるため、n1=0、n2=5 です。コマンドは以下のようになります。

```
^ＰＳ０５ＳＴＡＲＴ
(5Eh 50h 53h 30h 35h 53h 54h 41h 52h 54h)
```

^PC　　印刷開始受信文字数設定

ASCII:	^	P	C	n1	n2	n3
16 進:	5E	50	43	n1	n2	n3

パラメーター

0≦n1≦9

0≦n2≦9

0≦n3≦9

説明

- 印刷開始受信文字数を設定します。

  (n1*100)+(n2*10)+n3:　印刷開始受信文字数(1～999 文字)
- 印刷開始受信文字数のデフォルト値は 10 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。
- 全角は 2 バイトで 1 文字、半角は 1 バイトで 1 文字として扱われます。
- Unicode(UTF-8)設定時は、1～4 バイトで 1 文字として扱われます。

コマンド例

- 印刷受信文字数を 100 文字に変更する場合。

  n1=1、n2=0、n3=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

```
^ P C 1 0 0
(5Eh 50h 43h 31h 30h 30h)
```

^SS　　区切り記号指定

ASCII:	^	S	S	n1	n2	data
16 進:	5E	53	53	n1	n2	data

パラメーター

0≦n1≦2

0≦n2≦9

00h≦data≦FFh

説明

- 区切り記号とは、データの流し込みを、次のオブジェクトに移行したいときに使う記号です。
- 区切り記号の文字列を設定します。

  (n1*10)+n2:　文字列の長さ（1～20）

  data:　　文字列（設定可能最大文字数は 20 文字（バイト））
- 区切り記号のデフォルト文字列は“09h(TAB コード)”です。

  印刷データ内にでてくることがない文字列を設定してください。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効です。

コマンド例

- 区切り記号を“, ”（2Ch）に変えたい場合。

  文字列の長さは 1 文字であるため、n1=0、n2=1 となり、文字列（data）は“, ”（2Ch）で、コマンドは以下のようになります。

```
^ S S 0 1 ,
(5Eh 53h 53h 30h 31h 2Ch)
```

^CO　　カットオプション設定

ASCII:	^	C	O	n1	n2	n3	n4
16 進:	5E	43	4F	n1	n2	n3	n4

パラメーター

0≦n1≦1

0≦n2≦9

0≦n3≦9

0≦n4≦1

説明

- 各種カット項目を設定します。

  n1:　オートカット設定
  （ON:1（デフォルト） OFF:0）

  (n2*10)+n3:　オートカット枚数設定（1～99）
  （デフォルト値:1）

  n4:　カットアットエンド設定
  （ON:1（デフォルト）OFF:0）

- このコマンドは、動的コマンドです。
- このコマンドはオートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

備考

- オートカット枚数設定は、1～99 枚です。
  それ以外の数値を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 2 枚ごとにカットしたい場合。
  オートカット設定を ON、オートカット枚数を 2 枚にするため、n1=1、n2=0、n3=2 になります。コマンドは以下のようになります。

```
^ C O 1 0 2 0
(5Eh 43h 4Fh 31h 30h 32h 30h)
```

^LS　　改行時の行間設定

ASCII:	^	L	S	n1	n2	n3
16 進:	5E	4C	53	n1	n2	n3

パラメーター

0≦n1≦2

0≦n2≦9

0≦n3≦9

説明

- 改行時の行間のドット数を設定します。

  (n1*100)+(n2*10)+n3:　行間ドット数(0～255)
- 改行時の行間ドット数のデフォルト値は、P-touch Editor でテンプレートを作成したときに決められるドット数です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 行間のドット数は、0～255 ドットです。それ以外の数値を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 行間を 10 ドットにする場合。

```
^ L S 0 1 0
(5Eh 4Ch 53h 30h 31h 30h)
```

^CC　　プレフィックス文字の変更

ASCII:	^	C	C	n
16 進:	5E	43	43	n

パラメーター

00h≦n≦FFh

説明

- プレフィックス文字コードを変更します。

  n:　文字コード

- プレフィックス文字のデフォルト文字列は“^”です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

コマンド例

- プレフィックス文字を、“^”から“_”に変更したい場合は、下記のようにコマンドを送ります。

  ^ C C 5Fh

  (5Eh 43h 43h 5Fh)　(“5Fh” は ASCII コードで “_” を表します。)

- ただしこれ以降、電源を ON/OFF しないとプレフィックス文字は“_”に変更されたままのため、たとえば初期化コマンドを使用するときは、^II ではなく、_II になります。

^RC　　改行コマンド文字列設定

ASCII:	^	R	C	n1	n2	data
16 進:	5E	52	43	n1	n2	data

パラメーター

0≦n1≦2

0≦n2≦9

00h≦data≦FFh

説明

- 改行コマンドの文字列を設定します。

  (n1*10)+n2:　文字列の長さ（1～20 まで設定可能）

  data:　　文字列（設定可能最大文字数は 20 文字（バイト））
- 改行コマンドのデフォルト文字列は“^CR”です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効です。

コマンド例

- 改行コマンド文字列を“0Dh 0Ah”に変えたい場合。

  設定する文字列（data）は、2 文字であるため、n1=0、n2=2 です。コマンドは以下のようになります。

```
^ R C 0 2 0Dh 0Ah
(5Eh 52h 43h 30h 32h 0Dh 0Ah)
```

^QS　　印刷オプション設定

ASCII:	^	Q	S	n
16 進:	5E	51	53	n

パラメーター

0≦n≦1

説明

- 印刷オプションを選択します。

  n=0:　印字速度優先

  n=1:　印字品質優先
- 印刷オプションのデフォルト値は 0(印字速度優先)です。
- このコマンドは、動的コマンドです。
- このコマンドは、品質優先設定に対応した機種でのみ有効です。

コマンド例

- 印刷オプションを印字品質優先に変更する場合。

  n=1 になるため、コマンドは以下のようになります。

```
^ Q S 1
(5Eh 51h 53h 31h)
```

^QV　　QRコードバージョン設定

ASCII:	^	Q	V	n1	n2
16 進:	5E	51	56	n1	n2

パラメーター

0≦n1≦4

0≦n2≦9

説明

- QR コードバージョンを設定します。

  (n1*10)＋n2:　バージョン値 (0～40)
- QR コードバージョンのデフォルト値は 0 です。
- 設定可能値 (0～40)以外を設定しようとした時は、コマンドが無効になります。
- このコマンドは、動的コマンドです。

コマンド例

- バージョンを 10 に変更する場合。

  n1=1、n2=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

```
^ Q V 1 0
(5Eh 51h 56h 31h 30h)
```

^FC　　FNC1 置換設定

ASCII:	^	F	C	n
16 進:	5E	46	43	n

パラメーター

0≦n≦1

説明

- バーコード規格 GS1-128(UCC/EAN128)などに含まれる GS コードを、FNC1 コードに置き換える機能の ON/OFF を設定します。

  n: FNC1 置換設定
  (ON:1 OFF:0（デフォルト）)

- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- n が 0、1 以外の値の場合は無効になります。

コマンド例

- FNC1 置換を無効にしたい場合。

  FNC1 置換を無効にするため、n=0 になります。コマンドは以下のようになります。

```
^ F C 0
(5Eh 46h 43h 30h)
```

^OP　　本体動作実行（フィード）

ASCII:	^	O	P	n
16 進:	5E	4F	50	n

パラメーター

1≦n≦3

説明

- 本体のフィード動作を実行させます。

  n=1:　　頭だし（無定長ラベルの場合はフィード）

  n=2　　1枚送り（無定長ラベルの場合はフィード）

  n=3:　　カット

- カッター非搭載モデルでは、パラメーター設定値に関わらずフィード動作となります。

コマンド例

- 本体をフィード動作させたいとき、コマンドは以下のようになります。

```
^ O P 1
(5Eh 4Fh 50h 31h)
```

^SR　　ステータスリクエスト

ASCII:	^	S	R
16 進:	5E	53	52

パラメーター

なし

説明

- プリンターステータスを要求します。
- プリンターステータスは 32 バイトで構成されます。
- プリンターは印刷動作中に応答を返しません。

オフセット	名称	値／参照
0	ヘッドマーク	80h 固定
1	サイズ	20h 固定
2	「ブラザー」コード	“B” (42h) 固定
3	シリーズコード	下記の表(6)を参照してください。
4	機種コード	下記の表(7)を参照してください。
5	国別コード	“0” (30h) 固定
6	電源状態	下記の表(5)を参照してください。
7	予約	00h 固定
8	エラー情報 1	下記の表(1)を参照してください。
9	エラー情報 2	下記の表(2)を参照してください。
10	メディア幅	-
11	メディア種類	下記の表(3)を参照してください。
12	色数	00h 固定
13	メディア長（上位バイト）	-
14	メディアセンサ値	-
15	モード	01h 固定
16	濃度	00h 固定
17	メディア長（下位バイト）	-
18	ステータス種類	下記の表(4)を参照してください。
19	フェーズ種類	00h 固定
20	フェーズ番号上位バイト	00h 固定
21	フェーズ番号下位バイト	00h 固定
22	通知番号	未使用
23	拡張部バイト数	00h 固定
24-31	予約	00h 固定

(1) エラー情報 1

フラグ	マスク	意味
Bit 0	01h	未使用
Bit 1	02h	メディア終了エラー／用紙切れエラー
Bit 2	04h	未使用
Bit 3	08h	バッテリーウィーク／要充電エラー
Bit 4	10h	未使用
Bit 5	20h	電源オフ
Bit 6	40h	未使用
Bit 7	80h	未使用

(2) エラー情報 2

フラグ	マスク	意味
Bit 0	01h	未使用
Bit 1	02h	バッファーフルエラー
Bit 2	04h	通信エラー
Bit 3	08h	未使用
Bit 4	10h	カバーオープン
Bit 5	20h	印字ヘッド高温
Bit 6	40h	先端検出エラー／用紙間違いエラー
Bit 7	80h	システムエラー

(3) メディア種類

メディア種類	値	備考
長尺テープ	4Ah	
ダイカットラベル／マーク付きメディア	4Bh	

(4) ステータス種類

ステータス種類	値	備考
ステータスリクエストへの返信	00h	
（未使用）	01h	
エラー発生	02h	エラー種別はエラー情報 1/2 を参照ください。
（未使用）	03h ～ FFh	

(5) 電源状態

(RJ-4XXX, RJ-3XXX)

値	電池状態	AC アダプター状態
20h	電池残量 フル	非接続
21h	電池残量 ハイ	非接続
22h	電池残量 ハーフ	非接続
23h	電池残量 ロー	非接続
24h	電池残量 要充電	非接続
30h	電池残量 フル	接続
31h	電池残量 ハイ	接続
32h	電池残量 ハーフ	接続
33h	電池残量 ロー	接続
34h	電池残量 要充電	接続
37h	電池無し	接続
上記以外	未定義	未定義

(TD-4XXX)

値	電池状態
37h	AC アダプター接続

(RJ-3XXX, RJ-2XXX, TD-20XX, TD-21XX)

値	電池状態
00h	電池残量 フル
01h	電池残量 ハーフ
02h	電池残量 ロー
03h	電池残量 要充電
04h	AC アダプター接続

(TD-23XX)

値	電池状態	AC アダプター状態
20h	電池残量 フル	非接続
22h	電池残量 ハーフ	非接続
23h	電池残量 ロー	非接続
24h	電池残量 要充電	非接続
30h	電池残量 フル	接続
32h	電池残量 ハーフ	接続

33h	電池残量　ロー	接続
34h	電池残量　要充電	接続
37h	電池無し	接続
上記以外	未定義	未定義

(6) シリーズコード

シリーズ	値	備考
RJ シリーズ	“7” (37h)	
TD シリーズ	“5” (35h)	

(7) 機種コード

機種	値	備考
RJ-4230B	”C” (43h)	
RJ-4250WB	”D” (44h)	
RJ-3230B	“E” (45h)	
RJ-3250WB	“F” (46h)	
RJ-2030	“6” (36h)	
RJ-2050	“7” (37h)	
RJ-2140	“8” (38h)	
RJ-2150	“9” (39h)	
TD-4410D	”7” (37h)	
TD-4420DN	”8” (38h)	
TD-4510D	”9” (39h)	
TD-4520DN	”A” (41h)	
TD-4550DNWB	”B” (42h)	
TD-4210D	“C” (43h)	
TD-2020	“3” (33h)	
TD-2120N	“5” (35h)	
TD-2130N	“6” (36h)	
TD-2020A	“3” (33h)	
TD-2030A	“D” (44h)	
TD-2125N	“E” (45h)	
TD-2125NWB	“F” (46h)	
TD-2135N	“G” (47h)	
TD-2135NWB	“H” (48h)	
TD-2310D(203dpi)	“T” (54h)	

TD-2310D(300dpi)	“U” (55h)	
TD-2320D(203dpi)	“V” (56h)	
TD-2320D(300dpi)	“W” (57h)	
TD-2320DF(203dpi)	“X” (58h)	
TD-2320DF(300dpi)	“Y” (59h)	
TD-2320DSA(203dpi)	“Z” (5Ah)	
TD-2320DSA(300dpi)	“a” (61h)	
TD-2350D(203dpi)	“b” (62h)	
TD-2350D(300dpi)	“c” (63h)	
TD-2350DF(203dpi)	“d” (64h)	
TD-2350DF(300dpi)	“e” (65h)	
TD-2350DSA(203dpi)	“f” (66h)	
TD-2350DSA(300dpi)	“g” (67h)	
TD-2350DFSA(203dpi)	“h” (68h)	
TD-2350DFSA(300dpi)	“i” (69h)	

^VR　　バージョン情報取得

ASCII:	^	V	R
16 進:	5E	56	52

パラメーター

なし

説明

- 本体のバージョン情報を 8 文字の文字列で取得します。
- RJ-4230B では、本体のバージョン情報を 16 文字の文字列で取得します。

^CR　　オブジェクト内での改行

ASCII:	^	C	R
16 進:	5E	43	52

パラメーター

なし

説明

- テキストオブジェクトで次の行に改行します。
  改行コマンド文字列は変更することが可能です(^RC、ESC iXR2 参照)

コマンド例

- 3 行印刷させたい場合。

コード: 1 ^ C R 2 ^ C R 3 ^ F F
(31h 5Eh 43h 52h 32h 5Eh 43h 52h 33h 5Eh 46h 46h)

印刷結果:

1
2
3

^OS　　オブジェクト選択設定（オブジェクト番号）

ASCII:	^	O	S	n1	n2
16 進:	5E	4F	53	n1	n2

パラメーター

0≦n1≦9

0≦n2≦9

説明

- オブジェクト番号から対象オブジェクトを選択します。

  (n1*10)+n2:　オブジェクト番号(1～99)

備考

- 設定可能なオブジェクト番号は、1～99 です。

  それ以外の数値を設定しようとした場合は無効になります。
- 途中のオブジェクトからデータを挿入したい場合にこのコマンドを使用します。

コマンド例

- 33 オブジェクト目を選択する場合。

```
^ O S 3 3
(5Eh 4Fh 53h 33h 33h)
```

^ON　　オブジェクト選択設定（オブジェクト名）

ASCII:	^	O	N	data	00
16 進:	5E	4F	4E	data	00

パラメーター

なし

説明

- オブジェクト名から対象オブジェクトを選択します。

  data:　文字列（オブジェクト名）

備考

- 設定可能な文字列の最大長さは、20 文字です。それ以上の長さを指定した時は、コマンドが無効になります。また、文字列がない時も、コマンドが無効になります。
- 文字列の後ろには、00h をつけてください。文字列の終了を意味します。
- 途中のオブジェクトからデータを挿入したい場合にこのコマンドを使用します。

コマンド例

- オブジェクト名が“TEXT1”のオブジェクトを選択する場合。

```
^ O N T E X T 1 00h
(5Eh 4Fh 4Eh 54h 45h 58h 54h 31h 00h)
```

^DI　　オブジェクト直接挿入

ASCII:	^	D	I	n1	n2	data
16 進:	5E	44	49	n1	n2	data

パラメーター

00h≦n1≦FFh

00h≦n2≦78h

説明

- 選択されているテンプレートの選択されているオブジェクトに指定文字数分、文字列を挿入します。
  （途中に印刷コマンド、区切り記号がきても、指定文字数内ならデータとして扱われます。）
  (n2*256)+n1:　指定文字数（バイト）最大 30KB (7800h)
  data:　文字列

コマンド例

- A が印刷開始文字列に設定されていて、印刷開始トリガーを印刷開始文字列に設定してある場合、手軽に A を印刷したい場合に、下記のコマンドで印刷を実行します。

コード: ^ D I 03h 00h 1 A 2 A
(5Eh 44h 49h 03h 00h 31h 41h 32h 41h)

印刷結果: 1A2

8. 各種設定コマンド詳細

ESC iXT2　印刷開始トリガー選択

ASCII:	ESC	i	X	T	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	54	32	01	00	n1

パラメーター

00h≦n1≦02h

説明

- 印刷開始トリガーの種類を選択します。

  n1=00h:　設定されている文字列受信時 （デフォルト）

  n1=01h:　全てのオブジェクトが埋まったとき （最後のデータ後の区切り記号で印刷）

  n1=02h:　設定されている文字数受信時 （区切り記号は、含まれません。）
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- n1 が 00h～02h 以外の値の場合は無効になります。

コマンド例

- 印刷開始トリガーを「全てのオブジェクトが埋まったとき」にする場合。

```
ESC i X T 2 01h 00h 01h
(1Bh 69h 58h 54h 32h 01h 00h 01h)
```

ESC iXT1　印刷開始トリガー選択項目取得

ASCII:	ESC	i	X	T	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	54	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷開始トリガーを 3 バイトのデータで返信します。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h:　設定されている文字列受信時
  01h:　全てのオブジェクトが埋まったとき
  02h:　設定されている文字数受信時

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 本体に設定されている、印刷開始トリガーを取得します。設定値が、設定されている文字列受信時の場合。

コード:　ESC i X T 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 54h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 00h

ESC iXP2　印刷開始コマンド文字列設定

ASCII:	ESC	i	X	P	2	n1	n2	data
16 進:	1B	69	58	50	32	n1	n2	data

パラメーター

01h≦n1≦14h

n2: 00h (固定)

00h≦data≦FFh

説明

- 印刷開始コマンドの文字列を設定します。

  n1+(n2*256):　文字列の長さ（1～20 まで設定可能）

  data:　文字列（設定可能最大文字数は 20 文字（バイト））
- 印刷開始コマンドのデフォルト文字列は“^FF”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 印刷開始コマンド文字列を“START”に変えたい場合。

  設定する文字列（data）は“START”と、5 文字であるため、n1=05h、n2=00h です。

  コマンドは以下のようになります。

  ESC i X P 2 05h 00h S T A R T

  (1Bh 69h 58h 50h 32h 05h 00h 53h 54h 41h 52h 54h)

ESC iXP1　印刷開始コマンド文字列取得

ASCII:	ESC	i	X	P	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	50	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷開始コマンドの設定文字列を取得します。
- 本体から、3～22 バイトのデータが返信されます。（文字列の長さによってサイズは異なります。）

  [1、2]:　　n1 n2（文字数）n1+（n2*256）

  [3 以降]:　　文字列
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷開始コマンド文字列を“START”に設定している場合。

コード:　ESC i X P 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 50h 31h 00h 00h)
戻り値:　05h 00h S T A R T
(05h 00h 53h 54h 41h 52h 54h)

ESC iXr2　印刷開始受信文字数設定

ASCII:	ESC	i	X	r	2	02h	00h	n1	n2
16 進:	1B	69	58	72	32	02	00	n1	n2

パラメーター

00h≦n1≦FFh

00h≦n2≦03h

説明

- 印刷開始受信文字数を設定します。

  n1+(n2*256):　　印刷開始受信文字数(1～999)
- 印刷開始受信文字数のデフォルト値は 10 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。
- Unicode(UTF-8)設定時は、1～4 バイトで 1 文字として扱われます。

コマンド例

- 印刷受信文字数を 100 文字に変更する場合。

  n1=64h、n2=00h になるため、コマンドは以下のようになります。

```
ESC i X r 2 02h 00h 64h 00h
(1Bh 69h 58h 72h 32h 02h 00h 64h 00h)
```

ESC iXr1　印刷開始受信文字数取得

ASCII:	ESC	i	X	r	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	72	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷開始受信設定文字数を取得します。
- 本体からは、4 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　02h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3、4]:　n1 n2 の設定値
  n1+(n2*256): 印刷開始受信文字数
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷受信文字数が 500 文字の場合。

コード:　ESC i X r 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 72h 31h 00h 00h)
戻り値:　02h 00h F4h 01h　244(F4h)+(1(01h)*256)=500 文字です。

ESC iXD2　区切り記号指定

ASCII:	ESC	i	X	D	2	n1	n2	data
16 進:	1B	69	58	44	32	n1	n2	data

パラメーター

01h≦n1≦14h

n2: 00h (固定)

00h≦data≦FFh

説明

- 区切り記号とは、データの流し込みを、次のオブジェクトに移行したいときに使う記号です。
- 区切り記号の文字列を設定します。

  n1+(n2*256):　文字列の長さ (1～20)

  data:　文字列（設定可能最大文字数は 20 文字（バイト））
- 区切り記号のデフォルト文字列は“09h (TAB コード)”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 区切り記号を”, ”（2Ch）に変えたい場合。

  文字列の長さは 1 文字で、n1=01h、n2=00h となり、文字列（data）は“, ”（2Ch）で、コマンドは以下のようになります。

  ESC i X D 2 01h 00h 2Ch
  (1Bh 69h 58h 44h 32h 01h 00h 2Ch)

ESC iXD1　区切り記号取得

ASCII:	ESC	i	X	D	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	44	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 区切り記号の設定文字列を取得します。
- 本体から、3～22 バイトのデータが返信されます。（文字列の長さによってサイズは異なります。）

  [1、2]:　n1 n2（文字数）
  n1+(n2*256)

  [3 以降]:　文字列
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 区切り記号を", "（2Ch）に設定している場合。

コード: ESC i X D 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 44h 31h 00h 00h)
戻り値: 01h 00h ,
(01h 00h 2Ch)

ESC iXa2　読み捨て文字列設定

ASCII:	ESC	i	X	a	2	n1	n2	n3	data
16 進:	1B	69	58	61	32	n1	n2	n3	data

パラメーター

01h≦n1≦15h

n2: 00h (固定)

n3: 01h (固定)

00h≦data≦FFh

説明

- 読み捨て文字列を設定します。

  n1+(n2*256):　文字列の長さ(0～20)+1

  data:　文字列（設定可能最大文字数は 20 文字（バイト））

- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 読み捨て文字列を、“ABCD”にしたい場合。

  文字列の長さは 4 文字で、n1=05h、n2=00h となり、コマンドは以下のようになります。

ESC i X a 2 05h 00h 01h A B C D
(1Bh 69h 58h 61h 32h 05h 00h 01h 41h 42h 43h 44h)

ESC iXa1　読み捨て文字列取得

ASCII:	ESC	i	X	a	1	01h	00h	01h
16 進:	1B	69	58	61	31	01	00	01

パラメーター

なし

説明

- 読み捨て設定文字列を取得します。
- 本体から、2～22 バイトのデータが返信されます。（文字列の長さによってサイズは異なります。）

  [1、2]:　n1 n2（文字数）
  n1+(n2*256)

  [3 以降]:　文字列
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 読み捨て文字列が、“ABCD”の場合。本体に以下のコマンドを送信します。

コード:　ESC i X a 1 01h 00h 01h
(1Bh 69h 58h 61h 31h 01h 00h 01h)
戻り値:　04h 00h A B C D
(04h 00h 41h 42h 43h 44h)

ESC iXi2　コマンドモード設定

ASCII:	ESC	i	X	i	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	69	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h 01h 03h 06h

説明

- モードを切り替えます。

  n1=00h:　ESC/P モード

  n1=01h:　ラスターモード

  n1=03h:　P-touch Template モード（デフォルト） / ZPL II emulation モード

  n1=06h:　SBPL emulation モード

  n1=07h:　EPL emulation モード

  n1=08h:　DPL emulation モード

- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 設定可能値以外の値を設定しないでください。

ESC iXi1　コマンドモード設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	i	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	69	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- コマンドモードの設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h: ESC/P モード
  01h: ラスターモード
  03h: P-touch Template モード
  06h: SBPL emulation モード
  07h: EPL emulation モード
  08h: DPL emulation モード
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 設定値をラスターモードにしてある場合。

コード:　ESC i X i 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 69h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 01h

ESC iXn2　テンプレート選択設定

ASCII:	ESC	i	X	n	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	6E	32	01	00	n1

パラメーター

01h≦n1≦FFh

説明

- 本体で選択しているテンプレートを指定番号にします。

  n1:　テンプレート番号（1～255）
- 本体選択番号のデフォルト値は、1 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 設定可能なテンプレート番号は、1～255 です。

  それ以外の数値を設定しようとした場合、または本体に転送されていない番号を指定した場合は、無効になります。

コマンド例

- 選択テンプレート番号を 99 にする場合。

  n1=63h になるため、コマンドは以下のようになります。

  ESC i X n 2 01h 00h 63h
  (1Bh 69h 58h 6Eh 32h 01h 00h 63h)

ESC iXn1　テンプレート選択番号取得

ASCII:	ESC	i	X	n	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	6E	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 本体で選択しているテンプレート番号を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 選択テンプレート番号が 99 の場合。

コード:　ESC i X n 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 6Eh 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 63h

ESC iXf2　プレフィックス文字変更

ASCII:	ESC	i	X	f	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	66	32	01	00	n1

パラメーター

00h≦n1≦FFh

説明

- プレフィックス文字コードを変更します。

  n1:　文字コード
- プレフィックス文字のデフォルト文字列は“^”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- プレフィックス文字を、“_”に変更したい場合。

  ESC i X f 2 01h 00h 5Fh (“_”)

  (1Bh 69h 58h 66h 32h 01h 00h 5Fh)　(“5Fh” は ASCII コードで “_” を表します。)

ESC iXf1　プレフィックス設定文字取得

ASCII:	ESC	i	X	f	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	66	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- プレフィックス文字コードを取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定文字
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- プレフィックス文字を、“_”に設定している場合。

コード:　ESC i X f 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 66h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h _
(01h 00h 5Fh)

ESC iXc2　カットオプション設定

ASCII:	ESC	i	X	c	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	63	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h 01h 08h 09h

説明

- 各種カット項目を設定します。

  n1=00h:　カットなし

  n1=01h:　オートカット ON

  n1=08h:　カットアットエンド ON

  n1=09h:　オートカット ON、カットアットエンド ON
- このコマンドは、静的コマンドです。
- このコマンドはオートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

コマンド例

- オートカットを ON に設定する場合。

  ESC i X c 2 01h 00h 01h
  (1Bh 69h 58h 63h 32h 01h 00h 01h)

ESC iXc1　カットオプション設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	c	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	63	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 各種カット設定項目を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h: カットなし
  01h: オートカット ON
  08h: カットアットエンド ON
  09h: オートカット ON、カットアットエンド ON
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。
- このコマンドはオートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

コマンド例

- オートカット ON に設定されている場合。

コード:　ESC i X c 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 63h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 01h

ESC iXy2　一定枚数ごとのカット枚数設定

ASCII:	ESC	i	X	y	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	79	32	01	00	n1

パラメーター

01h≦n1≦63h

説明

- 一定枚数ごとのカット枚数を設定します。（オートカット設定が ON の場合、この設定値ごとにカットを行います。）

  n1:　一定枚数ごとのカット枚数（01h～63h）
- このコマンドは、静的コマンドです。
- このコマンドはオートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

コマンド例

- 5 枚ごとにカットしたい場合。（ただしオートカット設定が ON である必要があります。）

```
ESC i X y 2 01h 00 05h
(1Bh 69h 58h 79h 32h 01h 00h 05h)
```

ESC iXy1　一定枚数ごとのカット枚数取得

ASCII:	ESC	i	X	y	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	79	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 一定枚数ごとのカット枚数の設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。
- このコマンドはオートカッター搭載プリンターでのみ有効です。

コマンド例

- カット枚数設定を 5 枚ごとに設定している場合。

コード:　ESC i X y 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 79h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 05h

ESC iXm2 文字コードセット選択

ASCII:	ESC	i	X	m	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	6D	32	01	00	n1

パラメーター

00h≦n1≦04h, 10h

説明

- 文字コードセットを選択します。（文字コードセットの詳細に関しては、「付録C:文字コード一覧表」を参照してください。）

  n1=00h: 予約

  n1=01h: 予約

  n1=02h: 予約

  n1=03h: 予約

  n1=04h: 日本

  n1=10h: Unicode(UTF-8)
- n1 に設定可能値以外を設定しないでください。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 文字コードセットを、ブラザー標準にする場合。

```
ESC i X m 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 6Dh 32h 01h 00h 00h)
```

ESC iXm1　文字コードセット設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	m	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	6D	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 設定している文字コードセットを取得します。
  （文字コードセットの詳細に関しては、「付録C:文字コード一覧表」を参照してください。）
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h: 予約
  01h: 予約
  02h: 予約
  03h: 予約
  04h: 日本
  10h: Unicode(UTF-8)
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 文字コードセットを、ブラザー標準に設定している場合。

コード:　ESC i X m 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 6Dh 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 00h

ESC iXj2　国際文字設定

ASCII:	ESC	i	X	j	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	6A	32	01	00	n1

パラメーター

00h≦n1≦0Dh, 40h

説明

- 各国別の文字セットを選択し、n1 の値によりコード表の一部文字コードが切り替わります。

  n1=00h:　USA
  n1=01h:　フランス
  n1=02h:　ドイツ
  n1=03h:　イギリス
  n1=04h:　デンマークⅠ
  n1=05h:　スウェーデン
  n1=06h:　イタリア
  n1=07h:　スペインⅠ
  n1=08h:　日本
  n1=09h:　ノルウェー
  n1=0Ah:　デンマークⅡ
  n1=0Bh:　スペインⅡ
  n1=0Ch:　ラテンアメリカ
  n1=0Dh:　韓国
  n1=40h:　リーガル

- 切り替わるコードは、以下の 12 コードです。

  23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh 切り替わる文字に関しては、「付録 C: 文字コード一覧表」の「国際文字セット表」を参照してください。

- 初期設定は、n1=08h（日本）です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 国際文字設定を USA に変える場合。

```
ESC i X j 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 6Ah 32h 01h 00h 00h)
```

ESC iXj1　国際文字設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	j	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	6A	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 国際文字設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

[1]:　01h（固定）

[2]:　00h（固定）

[3]:　設定値

00h: USA

01h: フランス

02h: ドイツ

03h: イギリス

04h: デンマーク Ⅰ

05h: スウェーデン

06h: イタリア

07h: スペイン Ⅰ

08h: 日本

09h: ノルウェー

0Ah: デンマーク Ⅱ

0Bh: スペイン Ⅱ

0Ch: ラテンアメリカ

0Dh: 韓国

40h: リーガル

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 国際文字設定を「日本」にしている場合。

コード:　ESC i X j 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 6Ah 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 08h

ESC iXR2　改行コマンド文字列設定

ASCII:	ESC	i	X	R	2	n1	n2	data
16 進:	1B	69	58	52	32	n1	n2	data

パラメーター

01h≦n1≦14h

n2: 00h (固定)

00h≦data≦FFh

説明

- 改行コマンドの文字列を設定します。

  n1+(n2*256):　文字列の長さ（1～20 まで設定可能）

  data:　文字列（設定可能最大文字数は 20 文字（バイト））
- 改行コマンドのデフォルト文字列は“^CR”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 改行コマンド文字列を“0Dh 0Ah”に変えたい場合。

  設定する文字列（data）は、2 文字であるため、n1=02h、n2=00h です。コマンドは以下のようになります。

```
ESC i X R 2 02h 00h 0Dh 0Ah
(1Bh 69h 58h 52h 32h 02h 00h 0Dh 0Ah)
```

ESC iXR1　改行コマンド設定文字列取得

ASCII:	ESC	i	X	R	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	52	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 改行コマンドの設定文字列を取得します。
- 本体から、2～22 バイトのデータが返信されます。（文字列の長さによってサイズは異なります。）

  [1、2]:　n1 n2（文字数）
  n1+(n2*256)

  [3 以降]:　文字列

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 改行コマンド文字列を“0Dh 0Ah”に設定している場合。

コード:　ESC i X R 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 52h 31h 00h 00h)
戻り値:　02h 00h 0Dh 0Ah

ESC iXC2　コピー印刷枚数設定

ASCII:	ESC	i	X	C	2	02h	00h	n1	n2
16 進:	1B	69	58	43	32	02	00	n1	n2

パラメーター

00h≦n1≦FFh

00h≦n2≦03h

説明

- コピー印刷枚数を設定します。

  n1+(n2*256):　　コピー印刷枚数（バイト）(1～999)
- コピー印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- コピー印刷枚数を 100 枚に変更する場合。

  n1=64h、n2=00h になるため、コマンドは以下のようになります。

  ESC i X C 2 02h 00h 64h 00h
  (1Bh 69h 58h 43h 32h 02h 00h 64h 00h)

ESC iXC1　コピー印刷枚数設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	C	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	43	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- コピー印刷設定枚数を取得します。
- 本体からは、4 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　02h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3、4]:　n1 n2 の設定値
  n1+(n2*256): コピー印刷枚数
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- コピー印刷設定枚数が 500 枚の場合。

コード:　ESC i X C 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 43h 31h 00h 00h)
戻り値:　02h 00h F4h 01h　　244(F4h)+(1(01h)*256)=500 枚です。

ESC iXN2　ナンバリング印刷枚数設定

ASCII:	ESC	i	X	N	2	02h	00h	n1	n2
16 進:	1B	69	58	4E	32	02	00	n1	n2

パラメーター

00h≦n1≦FFh

00h≦n2≦03h

説明

- ナンバリング印刷枚数を設定します。

  n1+(n2*256):　　ナンバリング印刷枚数（バイト）(1～999)
- ナンバリング印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- ナンバリング印刷枚数を 100 枚に変更する場合。

  n1=64h、n2=00h になるため、コマンドは以下のようになります。

  ESC i X N 2 02h 00h 64h 00h
  (1Bh 69h 58h 4Eh 32h 02h 00h 64h 00h)

ESC iXN1　ナンバリング印刷枚数設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	N	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	4E	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- ナンバリング印刷設定枚数を取得します。
- 本体からは、4 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　02h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3、4]:　n1 n2 の設定値
  n1+(n2*256): ナンバリング印刷枚数
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- ナンバリング印刷設定枚数が 500 枚の場合。

コード:　ESC i X N 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 4Eh 31h 00h 00h)
戻り値: 02h 00h F4h 01h　244(F4h)+(1(01h)*256)=500 枚です。

ESC iXF2　FNC1 置換設定

ASCII:	ESC	i	X	F	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	46	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h 01h

説明

- バーコード規格 GS1-128(UCC/EAN128)などに含まれる GS コードを、FNC1 コードに置き換える機能の ON/OFF を設定します。

  n1=00h:　FNC1 置換設定 OFF

  n1=01h:　FNC1 置換設定 ON
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- FNC1 置換を無効にしたい場合。

```
ESC i X F 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 46h 32h 01h 00h 00h)
```

ESC iXF1　FNC1 置換設定取得

ASCII:	ESC	i	X	F	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	46	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- FNC1 置換設定を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h: FNC1 置換設定 OFF
  01h: FNC1 置換設定 ON
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- FNC1 置換設定 OFF に設定されている場合。

コード:　ESC i X F 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 46h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 00h

ESC iXq2　印刷オプション設定

ASCII:	ESC	i	X	q	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	71	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- 印刷オプションを選択します。

  n1=00h:　印字速度優先

  n1=01h:　印字品質優先
- 印刷オプションのデフォルト値は 00h(印字速度優先)です。
- このコマンドは、静的コマンドです。
- このコマンドは、品質優先設定に対応した機種でのみ有効です。

コマンド例

- 印刷オプションを印字品質優先にする場合。

  n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

```
ESC i X q 2 01h 00h 01h
(1Bh 69h 58h 71h 32h 01h 00h 01h)
```

ESC iXq1　印刷オプション設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	q	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	71	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷オプション設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h:　印字速度優先
  01h:　印字品質優先
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。
- このコマンドは、品質優先設定に対応した機種でのみ有効です。

コマンド例

- 印刷オプションが印字品質優先に設定されている場合。

コード:　ESC i X q 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 71h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 01h

ESC iXd2　リカバリー有無設定

ASCII:	ESC	i	X	d	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	64	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- リカバリー印刷有無設定を選択します。

  n1=00h:　リカバリー印刷なし

  n1=01h:　リカバリー印刷あり

- リカバリー印刷のデフォルト値は 01h（リカバリー印刷あり）です。

  * TD-2020/2120N/2130N：デフォルト値は 00h（リカバリー印刷なし）

- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- リカバリー印刷を有効にする場合。

  n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

  ESC i X d 2 01h 00h 01h
  (1Bh 69h 58h 64h 32h 01h 00h 01h)

ESC iXd1　リカバリー有無取得

ASCII:	ESC	i	X	d	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	64	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- リカバリー印刷有無設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h: リカバリー印刷なし
  01h: リカバリー印刷あり
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- リカバリー印刷ありに設定されている場合。

コード:　ESC i X d 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 64h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 01h

ESC iXE2　バーコード余白有無設定

ASCII:	ESC	i	X	E	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	45	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- バーコード余白有無設定を選択します。

  n1=00h:　余白なし

  n1=01h:　余白あり
- バーコード余白のデフォルト値は 01h（余白あり）です。
- このコマンドは、静的コマンドです。
- この設定は、2 次元バーコードのみ有効です。

コマンド例

- バーコード余白設定を余白なしにする場合。

  n1=00h になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X E 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 45h 32h 01h 00h 00h)

ESC iXE1　バーコード余白有無取得

ASCII:	ESC	i	X	E	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	45	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- バーコード余白有無設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h:　余白なし
  01h:　余白あり
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。
- この設定は、2 次元バーコードのみ有効です。

コマンド例

- バーコード余白ありに設定されている場合。

コード:　ESC i X E 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 45h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 01h

ESC iXh2　印刷方向設定

ASCII:	ESC	i	X	h	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	68	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- 印刷方向を選択します。

  n1=00h:　回転しない

  n1=01h:　180 度回転
- 印刷方向のデフォルト値は 00h（回転しない）です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 印刷方向を 180 度回転にする場合。

  n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

  ESC i X h 2 01h 00h 01h
  (1Bh 69h 58h 68h 32h 01h 00h 01h)

ESC iXh1　印刷方向取得

ASCII:	ESC	i	X	h	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	68	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷方向設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h:　回転しない
  01h: 180 度回転

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷方向が 180 度回転に設定されている場合。

コード:　ESC i X h 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 68h 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 01h

ESC iX^2　印刷停止位置指定

ASCII:	ESC	i	X	^	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	5E	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- 印刷停止位置を選択します。

  n1=00h:　ティアバー位置で停止 (後送り有り)

  n1=01h:　ヘッド位置で停止 (後送り無し)
- デフォルト値は 00h（ティアバー位置で停止）です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 印刷停止位置をヘッド位置に設定する場合。

  n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

```
ESC i X ^ 2 01h 00h 01h
(1Bh 69h 58h 5Eh 32h 01h 00h 01h)
```

ESC iX^1　印刷停止位置取得

ASCII:	ESC	i	X	^	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	5E	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷停止位置設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h:　ティアバー位置で停止(後送りあり)
  01h:　ヘッド位置で停止(後送りなし)
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷停止位置がティアバー位置(00h)に設定されている場合。

コード:　ESC i X ^ 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 5Eh 31h 00h 00h)
戻り値:　01h 00h 00h

ESC iXv2 (08h) Network Rawポート双方向通信指定

ASCII:	ESC	i	X	v	2	03h	00h	00h	08h	n1
16 進:	1B	69	58	76	32	03	00	00	08	n1

パラメーター

n1: 00h, 07h

説明

- Network Raw ポート通信時の双方向通信設定の有効／無効を切り替えます。

  n1=00h:　無効 (デフォルト)

  n1=07h:　有効
- デフォルト値は 00h（無効）です。
- 07h(有効)に設定することで、ネットワーク Raw ポート通信時にプリンターから応答を返すようになります。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- Raw ポートでの双方向通信(プリンターからの応答)を有効にする場合。

  n1=07h になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X v 2 03h 00h 00h 08h 07h
(1Bh 69h 58h 76h 32h 03h 00h 00h 08h 07h)

ESC iXv1 (08h) Network Rawポート双方向通信設定取得

ASCII:	ESC	i	X	v	1	03h	00h	00h	08h	00h
16 進:	1B	69	58	76	31	03	00	00	08	00

パラメーター

なし

説明

- Network Raw ポート通信時の双方向通信(プリンターからの応答)設定を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]: 01h（固定）

  [2]: 00h（固定）

  [3]: 設定値
  00h: 無効
  07h: 有効
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 有効に設定されている場合。

コード: ESC i X v 1 03h 00h 00h 08h 00h
(1Bh 69h 58h 76h 31h 03h 00h 00h 08h 00h)
戻り値: 01h 00h 07h

ESC iXv2 (0Ch) リカバリー回数設定

ASCII:	ESC	i	X	v	2	03h	00h	00h	0Ch	n1
16 進:	1B	69	58	76	32	03	00	00	0C	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- リカバリー印刷の回数を選択します。

  n1=00h: リカバリー回数 1 回

  n1=01h: リカバリー回数 制限なし
- デフォルト値は 00h（1 回）です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- リカバリー印刷回数を制限なしにする場合。

  n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

  ESC i X v 2 03h 00h 00h 0Ch 01h
  (1Bh 69h 58h 76h 32h 03h 00h 00h 0Ch 01h)

ESC iXv1 (0Ch) リカバリー回数取得

ASCII:	ESC	i	X	v	1	03h	00h	00h	0Ch	00h
16 進:	1B	69	58	76	31	03	00	00	0C	00

パラメーター

なし

説明

- リカバリー回数設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]: 01h（固定）

  [2]: 00h（固定）

  [3]: 設定値
  00h: リカバリー回数 1 回
  01h: リカバリー回数　制限なし
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- リカバリー回数 1 回に設定されている場合。

コード: ESC i X v 1 03h 00h 00h 0Ch 00h
(1Bh 69h 58h 76h 31h 03h 00h 00h 0Ch 00h)
戻り値: 01h 00h 00h

ESC iXu2 (04h) ジョブノンストップ印刷有効/無効 設定

ASCII:	ESC	i	X	u	2	03h	00h	00h	04h	n1
16 進:	1B	69	58	75	32	03	00	00	04	n1

パラメーター

n1: 00h 01h

説明

- ジョブノンストップ制御の有効／無効切り換えを行います。

  n1=00h: 有効（デフォルト）

  n1=01h: 無効

コマンド例

- 無効に設定する場合。

ESC i X u 2 03h 00h 00h 04h 01h
(1Bh 69h 58h 75h 32h 03h 00h 00h 04h 01h)

ESC iXu1 (04h) ジョブノンストップ印刷有効/無効 取得

ASCII:	ESC	i	X	u	1	03h	00h	00h	04h	00h
16 進:	1B	69	58	75	31	03	00	00	04	00

パラメーター

なし

説明

- ジョブノンストップ制御の有効／無効の設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]: 01h（固定）

  [2]: 00h（固定）

  [3]: 設定値
  00h： 有効（デフォルト）
  01h： 無効
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 無効に設定されている場合。

コード: ESC i X u 1 03h 00h 00h 04h 00h
(1Bh 69h 58h 75h 31h 03h 00h 00h 04h 00h)
戻り値: 01h 00h 01h

ESC iXu2 (80h) ZPL II emulationモード 印刷長設定

ASCII:	ESC	i	X	u	2	03h	00h	00h	80h	n1
16 進:	1B	69	58	75	32	03	00	00	80	n1

パラメーター

n1: 00h 01h 02h

説明

- ZPL II emulation モードにおける印刷長の設定を行います。

  n1=00h: 自動 - メディア設定またはコマンド。長い方が採用されます。

  n1=01h: メディア設定

  n1=02h: コマンド

コマンド例

- コマンドに設定する場合。

  ESC i X u 2 03h 00h 00h 80h 02h
  (1Bh 69h 58h 75h 32h 03h 00h 00h 80h 02h)

ESC iXu1 (80h) ZPL II emulationモード 印刷長取得

ASCII:	ESC	i	X	u	1	03h	00h	00h	80h	00h
16 進:	1B	69	58	75	31	03	00	00	80	00

パラメーター

なし

説明

- ZPL II emulation モードにおける印刷長の設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]: 01h（固定）

  [2]: 00h（固定）

  [3]: 設定値
  00h : 自動 - メディア設定またはコマンド。長い方が採用されます。
  01h : メディア設定
  02h : コマンド
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- コマンドに設定されている場合。

コード: ESC i X u 1 03h 00h 00h 80h 00h
(1Bh 69h 58h 75h 31h 03h 00h 00h 80h 00h)
戻り値: 01h 00h 02h

ESC i DC1 SQ(01h)　自己印刷QRコード内容設定

ASCII:	ESC	i	DC1	S	Q	01h	n1	n2	data
16 進:	1B	69	11	53	51	01	n1	n2	data

パラメーター

00h≦n1≦5Ah

n2:00h

説明

- 自己印刷に含まれる QR コードの内容を設定します。

  n1:QR コードに設定する内容の長さ(90 バイトまで)

  data:QR コードに設定する内容
- このコマンドは、静的コマンドです。

ESC i DC1 SQ(00h)　自己印刷QRコード内容取得

ASCII:	ESC	i	DC1	S	Q	00h	00h	00h
16 進:	1B	69	11	53	51	00	00	00

パラメーター

なし

説明

- 自己印刷 QR コード内容設定値を下記のデータで返信します。

[1]	00h（固定）
[2]	01h（固定）
[3]	コマンド受付応答 00h: コマンド受付 OK 01h: コマンド受付 NG
[4]	QR コードに設定されている内容の長さ
[5]	00h（固定）
[6]以降	QR コードに設定されている内容

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

ESC i DC1 SR(01h)　設定変更ロック設定

ASCII:	ESC	i	DC1	S	R	01h	n1	n2	n3
16 進:	1B	69	11	53	52	01	n1	n2	n3

パラメーター

n1:01h

n2:00h

n3:00h 又は FFh

説明

- 設定の変更、転送データの書き換えを禁止する。

  n3=00h:　設定変更禁止解除

  n3=FFh:　設定変更禁止

- このコマンドは、静的コマンドです。

ESC i DC1 SR(00h)　設定変更ロック取得

ASCII:	ESC	i	DC1	S	R	00h	00h	00h
16 進:	1B	69	11	53	52	00	00	00

パラメーター

なし

説明

- 設定変更ロック設定値を 6 バイトのデータで返信します。

[1]	00h（固定）
[2]	01h（固定）
[3]	コマンド受付応答 00h: コマンド受付 OK 01h: コマンド受付 NG
[4]	01h （固定）
[5]	00h（固定）
[6]	00h:禁止解除 FFh:禁止

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

ESC iDC2 3 0 媒体設定余白無視設定

ASCII:	ESC	i	DC2	3	0	01h	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	12	33	30	01	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- 媒体設定で設定された余白を無視するかを設定します。

  n1: 設定値
  00h: 無視しない
  01h: 無視する

- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 余白を無視するに設定する場合。

  n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

  ESC i DC2 3 0 01h 01h 00h 01h
  (1Bh 69h 12h 33h 30h 01h 01h 00h 01h)

9. 各種設定コマンド詳細（ラスターモード専用）

ESC iOUD1　全角スペース幅調整有無設定

ASCII:	ESC	i	O	U	D	1	n1
16 進:	1B	69	4F	55	44	31	n1

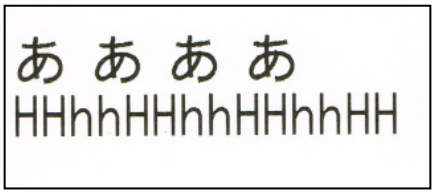
パラメーター

n1: 00h, 01h

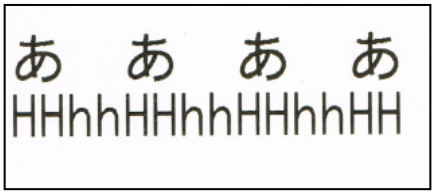
説明

- 全角スペースの幅を半角 2 文字分に合わせるかどうかを設定することができます。

n1=00h:　無効（調整なし）



n1=01h:　有効（調整あり）



- デフォルト値は 01h (有効・調整あり)です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 全角スペース幅調整を無効にする場合。

n1=00h になるため、コマンドは以下のようになります。

```
ESC i O U D 1 00h
(1Bh 69h 4Fh 55h 44h 31h 00h)
```

ESC iOUD0　全角スペース幅調整有無取得

ASCII:	ESC	i	O	U	D	0
16 進:	1B	69	4F	55	44	30

パラメーター

なし

説明

- 現在の全角/半角文字の調整が有効か無効かを取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

  [1]:　01h（固定）

  [2]:　00h（固定）

  [3]:　設定値
  00h:　無効
  01h:　有効
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 全角スペース幅調整が有効に設定されている場合。

コード:　ESC i O U D 0
(1Bh 69h 4Fh 55h 44h 30h)
戻り値:　01h 00h 01h

ESC iOUe1　装飾タグ文字列設定

ASCII:	ESC	i	O	U	e	1	n1	n2	n3	data
16 進:	1B	69	4F	55	65	31	n1	n2	n3	data

パラメーター

00h≦n1≦03h

01h≦n2≦08h

n3: 00h (固定)

00h≦data≦FFh

説明

- 装飾タグ文字列を設定します。

n1=00h:	太字装飾開始タグ(デフォルト文字列は“”)
n1=01h:	太字装飾終了タグ(デフォルト文字列は“”)
n1=02h:	下線装飾開始タグ(デフォルト文字列は“<u>”)
n1=03h:	下線装飾終了タグ(デフォルト文字列は“</u>”)
n2+(n3*256):	文字列の長さ(1～8 まで設定可能)
data:	文字列(設定可能最大文字数は 8 文字(バイト))

- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 太字装飾開始タグ文字列を”&b”に変更する場合。

  文字列の長さは 2 文字で、n3=02h となり、コマンドは以下のようになります。

  ESC i O U e 1 00h 02h 00h 26h 62h
  (1Bh 69h 4Fh 55h 65h 31h 00h 02h 00h 26h 62h)

- 太字装飾終了タグ文字列を”&&b”に変更する場合。

  文字列の長さは 3 文字で、n2=03h となり、コマンドは以下のようになります。

  ESC i O U e 1 01h 03h 00h 26h 26h 62h
  (1Bh 69h 4Fh 55h 65h 31h 01h 03h 00h 26h 26h 62h)

ESC iOUe0　装飾タグ文字列取得

ASCII:	ESC	i	O	U	e	0	n1	n2	n3
16 進:	1B	69	4F	55	65	30	n1	n2	n3

パラメーター

00h≦n1≦03h

n2: 00h (固定)

n3: 00h (固定)

説明

- 装飾タグを選択し、設定文字列を取得します。

  n1=00h:　太字装飾開始タグ

  n1=01h:　太字装飾終了タグ

  n1=02h:　下線装飾開始タグ

  n1=03h:　下線装飾終了タグ

- 本体から、2～10 バイトのデータが返信されます。（文字列の長さによってサイズは異なります。）

  [1、2]:　n1 n2（文字数）
  n1+(n2*256)

  [3 以降]:　文字列

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 太字装飾開始タグ文字列を”&b”に設定している場合。

  コード:　ESC i O U e 0 00h 00h 00h
  (1Bh 69h 4Fh 55h 65h 30h 00h 00h 00h)
  戻り値:　02h 00h 26h 62h

- 太字装飾終了タグ文字列を”&&b”に設定している場合。

  コード:　ESC i O U e 0 01h 00h 00h
  (1Bh 69h 4Fh 55h 65h 30h 01h 00h 00h)
  戻り値:　03h 00h 26h 26h 62h

10. プリンター制御コマンド詳細

ESC i a　　コマンドモード切替

ASCII:	ESC	i	a	n
16 進:	1B	69	61	n

パラメーター

n:　コマンドモード

説明

- モードを切り替えます。

n=00h または 30h:	ESC/P モード
n=01h または 31h:	ラスターモード
n=03h または 33h:	P-touch Template モード（デフォルト） / ZPL II emulation モード
n=06h または 36h:	SBPL emulation モード
n=07h または 37h:	EPL emulation モード
n=08h または 38h:	DPL emulation モード
n=FFh	初期値に戻る (ESC iXi2 コマンドモード設定 参照)

- 動的にコマンドモードを切り替えます。
- FFh (255) を指定すると、本体の電源オン初期値に戻ります。
- 範囲外の値を設定しないでください。

ESC i U x　再起動

ASCII:	ESC	i	U	x
16 進:	1B	69	55	78

パラメーター

なし

説明

- 本体を再起動します。
- 本コマンドはラスターモードで実行する必要があります。コマンドを送信する前にコマンドモードを変更してください。
  ESC i a　コマンドモード切替　を参照ください。

ESC i S　ステータスリクエスト

ASCII:	ESC	i	S
16 進:	1B	69	53

パラメーター

なし

説明

- プリンターステータスが返信されます。プリンターステータスは 32 バイトで構成されます。
- コマンドの応答内容は ^SR と同様です。^SR のページを参照ください。
- 本コマンドは印刷動作中に応答を返しません。

11. ZPL II エミュレーションサポートコマンド

ZPL II は、日本語フォントをダウンロードすることで日本語印刷ができます。
フォントの転送方法など詳細は開発者サイトをご確認ください。

ZPL II	名称	備考
^A	Select font	
^A@	Select font	・RJ-2XXX、TD-20XX、TD-21XX：コマンド非対応です。
^B0	Aztec	
^B2	Interleaved 2 of 5	
^B3	Code39	
^B7	PDF417	
^B8	EAN-8	
^B9	UPC-E	
^BA	Code93	・添え字の先頭と末尾に ‘□’ は、付与されません。
^BC	Code128	
^BD	MaxiCode	
^BE	EAN-13	
^BF	MicroPDF417	
^BI	Industrial 2 of 5	
^BJ	Standard 2 of 5	
^BK	ANSI CodaBar	
^BM	MSI/Plessey	
^BO	Aztec	
^BQ	QR Code	・マスクパターンは、固定です。 ・混在モードは、非対応です。
^BR	GS1 Databar	
^BS	UPC-EAN Extension	
^BU	UPC-A	・添え字を無効にした場合、ガードバーは無効になります。 ・添え字の大きさは、モジュール幅の大きさに合わせて変化しません。
^BX	DataMatrix	・エラー訂正レベルは、200 固定です。
^BY	Bar setting for barcodes	
^BZ	POSTAL	・Postnet および IMB に、対応しています。
^CC	Change prefix ^	

~CC	Change prefix ^	
^CD	Change delimiter character	
~CD	Change delimiter character	
^CF	Change default font	
^CI	Change international character set	・1 バイトコード（国際文字設定）および UTF-8 に、対応しています。
^CT	Change prefix ~	
~CT	Change prefix ~	
^CW	Name downloaded font with 1 alphanumeric character.	・TTE ファイルは、非対応です。
^DB	Download bitmap font	
~DB	Download bitmap font	
^DF	Download format	
^DG	Download graphic	
~DG	Download graphic	
~DY	Download Object	・TD-4XXX, TD-23XX のみ対応しています。 ・TTE、PNG、OTF、NRD、PAC、WML、HTM、GET は、非対応です。
^EF	Clear all formats in RAM except GRF	
~EF	Clear all formats in RAM except GRF	
^EG	Clear all GRF	
~EG	Clear all GRF	
^FA	Allocate space for the field to be saved	
^FB	Set field block	
^FC	Field Clock	・TD-4XXX, TD-23XX のみ対応しています。
^FD	Set input data area	
^FH	Use hexadecimal character for input data	
^FN	Set data area as a number	
^FO	Set position from home position of label	
^FP	Set field parameter	・バーコード添え字への設定は、無効です。 ・フィールドブロックへの縦書き指定は、無効です。
^FR	Reverse field color	
^FS	Point to last position of field	
^FT	Set position of field	
^FV	Set the number of data to be inserted	

	in field	
^FW	Set the default orientation	
^FX	Comment	・TD-4XXX, TD-23XX のみ対応しています。
^GB	Draw box	
^GC	Graphic circle	・RJ-2XXX、TD-20XX、TD-21XX：コマンド非対応です。
^GD	Graphic diagonal line	
^GE	Graphic ellipse	・RJ-2XXX、TD-20XX、TD-21XX：コマンド非対応です。
^GF	Graphic field	・圧縮データは、非対応です。
^GS	GS fonts	・登録商標マークおよび著作権マーク、トレードマークに、対応しています。
^HG	Return graphic data to host	・奇数のデータは、偶数に変換されます。
~HI	Retrieve printer information	
~HS	Return printer settings to host	
^HY	Upload Graphics	・TD-4XXX, TD-23XX のみ対応しています。 ・PNG は、非対応です。
^ID	Delete image file	
^IL	Recall image files stored with ^IS	
^IM	Recall image files	
^IS	Store image files	
~JA	Cancel format	
^JB	Initialize memory	
^JM	Set Dots per Millimeter	・TD-4XXX, TD-23XX のみ対応しています。
~JP	Clear format holding ~JP	
~JR	Initialize when printer turned on	
^JU	Printer setting	・ネットワーク関連の初期設定は、ロードされません。 ・ラベル長とシフト値は、保存されません。
^JZ	Select print setting after error occurs	
^KL	Set language	・コントロールパネルの言語設定は、非対応です。
^LH	Set home position of label	
^LL	Set label length	
^LR	Reverse field data color	
^LS	Set horizontal print position	
^LT	Set vertical print position	
^MC	Clear data after printing	

^MF	Feed setting	・一部のフィード動作は、非対応です。
^MM	Print Mode	・プレピール動作は、行われません。 ・RJ-4XXX、RJ-2XXX、TD-20XX、TD-21XX：コマンド非対応です。
^MN	Media setting	・黒マーク位置の調整は、非対応です。
^MU	Unit setting	・解像度の設定は、非対応です。モデルの解像度に従って動作します。
^PM	Mirror printing	
^PO	Upside-down printing	
^PQ	Copy printing	・一時停止の指定は、非対応です。
^PW	Set print width	
~SD	Set print density	
^SF	Serialization	
^SN	Serialization	
^ST	Set Date and Time	・TD-4XXX, TD-23XX のみ対応しています。
~TA	Reverse feed length setting when printing	
^TB	Text Blocks	・TD-23XX：コマンド非対応です。
~WC	Print printer settings	
^WD	Print list of stored files	
^XA	Command required at beginning of format	・STX への置き換えは、非対応です。
^XF	Recall format stored with ^DF	
^XG	Recall format stored with ^DG or ^DG	
^XZ	Command required at end of format	

12. EPL エミュレーションサポートコマンド

EPL	名称	備考
A	ASCII Text	・アジア系フォントには、非対応です。 ・白黒反転には、非対応です。
A	Simple Expressions in Data Fields	・アジア系フォントには、非対応です。 ・白黒反転には、非対応です。
AUTOFR	Automatic Form Printing	・電源起動時の自動印刷には、非対応です。
B	Bar Code	・Code 128 with Deutsche Post check digit、Interleaved 2 of 5 with human readable check digit、Planet 11 & 13 digit、Japanese Postnet、UPC Interleaved 2 of 5 には、非対応です。
B	RSS-14 Bar Code Specific Options	・添え字には、非対応です。
b	2D Bar Code – Aztec Specific Options	・flg(n)には、非対応です。 ・menu support option には、非対応です。 ・白黒反転には、非対応です。
b	2D Bar Code – Data Matrix Specific Options	・白黒反転には、非対応です。
b	2D Bar Code – MaxiCode Specific Options	
b	2D Bar Code – PDF417 Specific Options	・Macro PDF417 には、非対応です。
b	2D Bar Code – QR Code Specific Options	
C	Counter	・プロンプトの表示には、非対応です。
C	Cut Immediate	
FE	End Form Store	
FK	Delete Form	
FR	Retrieve Form	
FS	Store Form	
GG	Print Graphics	
GK	Delete Graphics	
GM	Store Graphics	
GW	Direct Graphic Write	
I	Character Set Selection	・8 ビットデータは Windows1250 および Windows1252 のみに、対応しています。その他のコードページについては、意図した文字が印刷されない場合があります。 ・KDU のコード設定には、非対応です。
LE	Line Draw Exclusive OR	
LO	Line Draw Black	

EPL	名称	備考
LS	Line Draw Diagonal	
LW	Line Draw White	
N	Clear Image Buffer	
oW	Customize Bar Code Parameters	
P	Print	
PA	Print Automatic	
q	Set Label Width	
Q	Set Form Length	・オフセットの設定には、非対応です。
R	Set Reference Point	
V	Define Variable	・プロンプトの表示には、非対応です。
X	Box Draw	
Z	Print Direction	
?	Download Variables	
;	Code Comment Line	

13. DPL エミュレーションサポートコマンド

13.1 Configuration Commands

DPL	名称	備考
<STX>KcAS	Single Byte Symbol Set	・E1、E9、FR、GR、IT、P9、PM、SP、SW、UK、US、W1 に、対応しています。その他のコードページについては、意図した文字が印刷されない場合があります。
<STX>KcCL	Continuous Label Length	
<STX>KcCO	Column Offset	
<STX>KcDS	Double Byte Symbol Set	・SJ、UC に、対応しています。その他のコードページについては、意図した文字が印刷されない場合があります。
<STX>KcEN	End Character	
<STX>KcFA	Format Attributes	・Opaque には、非対応です。
<STX>KcLR	Label Rotation	
<STX>KcNS	Disable Symbol Set Selection	
<STX>KcRF	Row Adjust Fine Tune	
<STX>KcRO	Row Offset	
<STX>KcUM	Unit of Measure	

13.2 Format Record Commands

サポートタイプ	備考
Inter Bitmapped Font	・縦、横の拡大比は、最大 15 倍です。
Smooth/Downloaded Bitmapped Fonts	・縦、横の拡大比は、最大 15 倍です。 ・ダウンロードビットマップフォントには、非対応です。
Scalable Fonts	・縦、横の拡大比は、最大 15 倍です。 ・2 バイト文字フォントには、非対応です。2 バイト文字を印刷する場合は、ダウンロードフォントを使用してください。
Images	・縦、横の拡大比は、最大 15 倍です。
Lines and Boxes	
Polygons	
Circles	

13.3 Bar Code Format Record Commanads

サポートタイプ	備考
Code 3 of 9 Bar Code	
UPC-A Bar Code	
UPC-E Bar Code	
Interleaved 2 of 5 (I2 of 5) Bar Code	
Code 128 Bar Code	
EAN-13 Bar Code	
EAN-8 Bar Code	
Codabar Bar Code	
Interleaved 2 of 5 (with a Modulo 10 Checksum) Bar Code	
2-Digit UPC Addendum Bar Code	
5-Digit UPC Addendum Bar Code	
Code 93 Bar Code	
Postnet Bar Code	
UCC/EAN Code 128 Bar Code	
UPS MaxiCode, Modes 2 & 3 Bar Code	
UPS MaxiCode, Modes 2 & 3 Bar Code with Byte Count Specifier	
PDF-417 Bar Code with Byte Count Specifier	
PDF-417 Bar Code	
DataMatrix Bar Code	・エラー訂正レベルは、200 のみ対応しています。その他の値を設定した場合、バーコードは印刷されません。 ・最大データ数を超えるデータを入力した場合、バーコードは印刷されません。
DataMatrix Bar Code with Byte Count Specifier	・エラー訂正レベルは、200 のみ対応しています。その他の値を設定した場合、バーコードは印刷されません。 ・最大データ数を超えるデータを入力した場合、バーコードは印刷されません。
QR Code Bar Code	・マスク値は、マスクなし固定です。 ・データ追加モードには、非対応です。
Aztec Bar Code	・ECI モードは、無効固定です。
EAN128 Bar Code (with Auto Subset Switching)	
Code 128 Bar Code (with Auto Subset Switching)	・無効なデータが入力された場合、バーコードは印刷されません。
GS1 DataBar Bar Code	・Undercut には、非対応です。
Industrial 2 of 5 Bar Code	

サポートタイプ	備考
Intelligent Mail Bar Code (IMB)	
Standard 2 of 5 Bar Code	
Micro PDF417 Bar Code	・縦の拡大比は、最大 64 倍です。 ・横の拡大比は、最大 32 倍です。 ・マクロ文字の置換には、非対応です。
Micro PDF417 Bar Code with Byte Count Specifier	・縦の拡大比は、最大 64 倍です。 ・横の拡大比は、最大 32 倍です。 ・マクロ文字の置換には、非対応です。

13.4 System Label Commands

DPL	名称	備考
<STX>c	Set Continuous Paper Length	
<STX>E	Set Quantity for Stored Label	
<STX>e	Select Edge Sensor	
<STX>F	Form Feed	
<STX>G	Print Last Label Format	
<STX>I	Input Image Data	・Memory Module に“D”を指定した場合、データは RAM に保存されます。それ以外を指定した場合、データは FROM に保存されます。 ・IMG 形式は、非対応です。
<STX>L	Enter Label Formatting Command Mode	
<STX>m	Set Printer to Metric Mode	
<STX>n	Set Printer to Imperial Mode	
<STX>U	Label Format String Replacement Field	・置換後のテキストの文字数は、置換前のテキストの文字数に制限されます。
<STX>y	Select Font Symbol Set	・1 バイトコードについては、E1、E9、FR、GR、IT、P9、PM、SP、SW、UK、US、W1 に、対応しています。その他のコードページについては、意図した文字が印刷されない場合があります。 ・2 バイトコードについては、SJ、UC に、対応しています。その他のコードページについては、意図した文字が印刷されない場合があります。

13.5 Label Format Commands

DPL	名称	備考
A	Set Format Attribute	・Opaque Mode、Inverse Mode には、非対応です。Transparent Mode で、印刷されます。
B	Bar Code Magnification	
C	Set Column Offset Amount	
D	Set Dot Size Width and Height	
E	Terminate Label Formatting Mode and Print Label	
F	Advanced Format Attributes	
G	Place Data in Global Register	
J	Justification	
m	Set Metric Mode	
n	Set Inch (Imperial) Mode	
Q	Set Quantity of Labels to Print	
R	Set Row Offset Amount	
T	Set Field Data Line Terminator	
X	Terminate Label Formatting Mode	
y	Select Font Symbol Set	・1 バイトコードについては、E1、E9、FR、GR、IT、P9、PM、SP、SW、UK、US、W1 に、対応しています。その他のコードページについては、意図した文字が印刷されない場合があります。 ・2 バイトコードについては、SJ、UC に、対応しています。その他のコードページについては、意図した文字が印刷されない場合があります。
z	Zero (Ø) Conversion to "0"	
+|>|(	Make Last Field Entered Increment	・桁数揃えは行われません。有効桁分だけ印刷されます。
-|<|)	Make Last Field Entered Decrement	・桁数揃えは行われません。有効桁分だけ印刷されます。
<STX>S	Recall Global Data and Place in Field	
<STX>T<CR>	Print Time and Date	
^	Set Count by Amount	

付録 A: 対応機種一覧表

本書に対応しているプリンターのシリーズ、機種名は下記のとおりです。

Series	Model
RJ-4XXX	RJ-4230B
	RJ-4250WB
RJ-3XXX	RJ-3230B
	RJ-3250WB
RJ-2XXX	RJ-2030
	RJ-2050
	RJ-2140
	RJ-2150
TD-4XXX	TD-4410D
	TD-4420DN
	TD-4510D
	TD-4520DN
	TD-4550DNWB
	TD-4210D
TD-20XX, TD-21XX	TD-2020
	TD-2120N
	TD-2130N
	TD-2020A
	TD-2030A
	TD-2125N
	TD-2125NWB
	TD-2135N
	TD-2135NWB
TD-23XX	TD-2310D
	TD-2320D
	TD-2320DF
	TD-2320DSA
	TD-2350D
	TD-2350DF
	TD-2350DSA
	TD-2350DFSA

付録 B: 仕様

RJ-4XXX P-touch Template 2.0 の仕様は下記のとおりです。

機種			RJ-4230B	RJ-4250WB
印字	印刷モード		ラスター ESC/P **<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>** SBPL emulation EPL emulation mode (<u>コマンドモード設定コマンド</u>でのみ切り替え可能) DPL emulation mode (<u>コマンドモード設定コマンド</u>でのみ切り替え可能)	
	最大印字長		3 m	
	解像度 (dpi)		203 dpi × 203 dpi	
	テキスト	フォント	欧文:ヘルシンキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント) 和文:ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント) フォントダウンロードのサポート (TrueType/OpenType)	
		サイズ (ドット)	最大 400 ドット	
		文字スタイル	なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、 シャドウ＋アウトライン	
		水平位置	左寄せ、中寄せ、右寄せ ※「長文」設定時:左上寄せ	
		回転	垂直、水平	
	バーコード	規格	CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, Intelligent Mail Barcode, GS1 Databar Composite, QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode, Aztec	
		幅	大、中、小、極小	
通信		ボーレート	ー	
ユーザー領域(利用可能領域)			42 MB	
インターフェース			USB Bluetooth	USB Bluetooth WLAN
その他		カッター対応	ー	

太字で<u>アンダーライン</u>の項目は、初期値です。

RJ-3XXX P-touch Template 2.0 の仕様は下記のとおりです。

機種			RJ-3230B	RJ-3250WB
印字	印刷モード		ラスター ESC/P **<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>** SBPL emulation	
	最大印字長		3 m	
	解像度 (dpi)		203 dpi × 203 dpi	
	テキスト	フォント	欧文:ヘルシンキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント) 和文:ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント) フォントダウンロードのサポート (TrueType/OpenType)	
		サイズ (ドット)	最大 400 ドット	
		文字スタイル	なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、 シャドウ＋アウトライン	
		水平位置	左寄せ、中寄せ、右寄せ ※「長文」設定時:左上寄せ	
		回転	垂直、水平	
	バーコード	規格	CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, Intelligent Mail Barcode, GS1 Databar Composite, QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode, Aztec,	
		幅	大、中、小、極小	
ユーザー領域(利用可能領域)			42 MB	
インターフェース			USB Bluetooth Ethernet (Option)	USB Bluetooth WLAN Ethernet (Option)
その他		カッター対応	ー	

太字で<u>アンダーライン</u>の項目は、初期値です。

RJ-2XXX P-touch Template 2.0 の仕様は下記のとおりです。

機種			RJ-2030	RJ-2050	RJ-2140	RJ-2150
印字	印刷モード		ラスター ESC/P **<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>** SBPL emulation			
	最大印字長		1 m			
	解像度 (dpi)		203 dpi × 203 dpi			
	テキスト	フォント	欧文:ヘルシンキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント) 和文:ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント)			
		サイズ (ドット)	最大 400 ドット			
		文字スタイル	なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、 シャドウ＋アウトライン			
		水平位置	左寄せ、中寄せ、右寄せ ※「長文」設定時:左上寄せ			
		回転	垂直、水平			
	バーコード	規格	CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode, Aztec			
		幅	大、中、小、極小			
ユーザー領域(利用可能領域)			12 MB			
インターフェース			USB Bluetooth	USB Bluetooth WLAN	USB WLAN	USB Bluetooth WLAN
その他		カッター対応	ー			

太字で<u>アンダーライン</u>の項目は、初期値です。

TD-4XXX P-touch Template 2.0 の仕様は下記のとおりです。

機種			TD-4410D	TD-4420D N	TD-4210D	TD-4510D	TD-4520D N	TD-4550D NWB
印字	印刷モード		ラスター ESC/P **<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>** SBPL emulation EPL emulation DPL emulation					
印字	最大印字長		3 m					
印字	解像度 (dpi)		203 dpi × 203 dpi			300 dpi × 300 dpi		
印字	テキスト	フォント	欧文:ヘルシンキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント) 和文:ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント) フォントダウンロードのサポート (TrueType/OpenType)					
印字	テキスト	サイズ (ドット)	最大 400 ドット					
印字	テキスト	文字スタイル	なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、 シャドウ＋アウトライン、リバース					
印字	テキスト	水平位置	左寄せ、中寄せ、右寄せ ※「長文」設定時:左上寄せ					
印字	テキスト	回転	垂直、水平					
印字	バーコード	規格	CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, Intelligent Mail Barcode, GS1 Databar Composite, QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode, Aztec,					
印字	バーコード	幅	大、中、小、極小					
ユーザー領域(利用可能領域)			40 MB					
インターフェース			USB RS-232C	USB RS-232C Ethernet	USB RS-232C	USB RS-232C	USB RS-232C Ethernet	USB RS-232C Ethernet Bluetooth WLAN USB-HOST
RS-232C		ボーレート	4800, **<u>9600</u>**, 14400, 19200, 28800, 31250, 38400, 57600, 115200 bps					
RS-232C		ビジー制御	**<u>DTR</u>**, Xon/Xoff					
RS-232C		パリティ	**<u>None</u>**, ODD, EVEN					
RS-232C		ビット長	**<u>8bit</u>**, 7bit					
その他		カッター対応	○					

太字で<u>アンダーライン</u>の項目は、初期値です。

TD-20XX, TD-21XX P-touch Template 2.0 の仕様は下記のとおりです。

機種			TD-2020	TD-2120N	TD-2130N
印字	印刷モード		ラスター ESC/P **<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>**		
	最大印字長		1 m		
	解像度 (dpi)		203 dpi × 203 dpi		300 dpi x 300 dpi
	テキスト	フォント	欧文:ヘルシンキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント) 和文:ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント)		
		サイズ (ドット)	最大 400 ドット		
		文字スタイル	なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、 シャドウ＋アウトライン		
		水平位置	左寄せ、中寄せ、右寄せ ※「長文」設定時:左上寄せ		
		回転	垂直、水平		
	バーコード	規格	CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode,		
		幅	大、中、小、極小		
ユーザー領域(利用可能領域)			6 MB		
インターフェース			USB RS-232C	USB RS-232C Ethernet Bluetooth (Option) WLAN (Option)	
RS-232C		ボーレート	300, 600, 1200, 2400, 4800, **<u>9600</u>**, 14400, 19200, 28800, 31250, 38400, 57600, 115200 bps		
		ビジー制御	**<u>DTR</u>**, Xon/Xoff		
		パリティ	**<u>None</u>**, ODD, EVEN		
		ビット長	**<u>8bit</u>**, 7bit		
その他		カッター対応	ー		

太字で<u>アンダーライン</u>の項目は、初期値です。

機種			TD-2020A	TD-2125 N	TD-2125 NWB	TD-2030A	TD-2135 N	TD-2135 NWB
印字	印刷モード		ラスター ESC/P **<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>** SBPL emulation					
	最大印字長		3 m					
	解像度 (dpi)		203 dpi × 203 dpi			300 dpi x 300 dpi		
	テキスト	フォント	欧文：ヘルシンキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント) 和文：ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント)					
		サイズ(ドット)	最大 400 ドット					
		文字スタイル	なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、 シャドウ＋アウトライン					
		水平位置	左寄せ、中寄せ、右寄せ ※「長文」設定時：左上寄せ					
		回転	垂直、水平					
	バーコード	規格	CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, Intelligent Mail Barcode (*), GS1 Databar Composite (*), QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode, Aztec (*),					
		幅	大、中、小、極小					
ユーザー領域(利用可能領域)			20 MB					
インターフェース			USB RS-232C	USB RS-232C Ethernet	USB RS-232C Ethernet Bluetooth WLAN	USB RS-232C	USB RS-232C Ethernet	USB RS-232C Ethernet Bluetooth WLAN
RS-232C		ボーレート	4800, **<u>9600</u>**, 14400, 19200, 28800, 31250, 38400, 57600, 115200 bps					
		ビジー制御	**<u>DTR</u>**, Xon/Xoff					
		パリティ	**<u>None</u>**, ODD, EVEN					
		ビット長	**<u>8bit</u>**, 7bit					
その他		カッター対応	ー					

太字で<u>アンダーライン</u>の項目は、初期値です。

* TD-2020A では非対応です。

TD-23XX P-touch Template 2.0 の仕様は下記のとおりです。

<table>
<tr><td colspan="3">機種</td><td>TD-2310D</td><td>TD-2320D</td><td>TD-2320DF</td><td>TD-2320DSA</td><td>TD-2350D</td><td>TD-2350DF</td><td>TD-2350DSA</td><td>TD-2350DFSA</td></tr>
<tr><td rowspan="15">印字</td><td colspan="2">印刷モード</td><td>ラスター
ESC/P
<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>
EPL emulation
DPL emulation</td><td colspan="8">ラスター
ESC/P
<u>P-touch Template / ZPL II emulation</u>
SBPL emulation
EPL emulation
DPL emulation</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大印字長</td><td colspan="9">3 m</td></tr>
<tr><td colspan="2">解像度 (dpi)</td><td colspan="9">203 dpi × 203 dpi または 300 dpi × 300 dpi</td></tr>
<tr><td rowspan="5">テキスト</td><td>フォント</td><td colspan="9">欧文：ヘルシンキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント)
和文：ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント)
フォントダウンロードのサポート (TrueType/OpenType)</td></tr>
<tr><td>サイズ (ドット)</td><td colspan="9">最大 400 ドット</td></tr>
<tr><td>文字スタイル</td><td colspan="9">なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、
シャドウ＋アウトライン、リバース</td></tr>
<tr><td>水平位置</td><td colspan="9">左寄せ、中寄せ、右寄せ
※「長文」設定時：左上寄せ、中寄せ、右上寄せ</td></tr>
<tr><td>回転</td><td colspan="9">垂直、水平</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バーコード</td><td>規格</td><td colspan="9">CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, Intelligent Mail Barcode, GS1 Databar Composite,

QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode, Aztec,</td></tr>
<tr><td>幅</td><td colspan="9">大、中、小、極小</td></tr>
<tr><td colspan="3">ユーザー領域(利用可能領域)</td><td>8MB</td><td colspan="9">32 MB</td></tr>
<tr><td colspan="3">インターフェース</td><td>USB
RS-232C</td><td colspan="4">USB
RS-232C
Ethernet
USB-HOST</td><td colspan="5">USB
RS-232C
Ethernet
Bluetooth
WLAN
USB-HOST</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">RS-232C</td><td>ボーレート</td><td colspan="9">4800, <u>9600</u>, 14400, 19200, 28800, 31250, 38400, 57600, 115200 bps</td></tr>
<tr><td>ビジー制御</td><td colspan="9"><u>DTR</u>, Xon/Xoff</td></tr>
<tr><td>パリティ</td><td colspan="9"><u>None</u>, ODD, EVEN</td></tr>
</table>

	ビット長	**8bit**, 7bit	
その他	カッター対応	ー	○

太字でアンダーラインの項目は、初期値です。

付録 C: 文字コード一覧表

文字コード一覧表

日本文字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	_		SP	ー	タ	ミ		
1			!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2			”	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4			$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5			%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7			’	7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ		
8			(	8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ		
9			)	9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル		
A			*	:	J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ		
B			+	;	K	[	k	{			ォ	サ	ヒ	ロ		
C			,	<	L	\	l	|			ャ	シ	フ	ワ		
D			-	=	M	]	m	}			ュ	ス	ヘ	ン		
E			.	>	N	^	n	~			ョ	セ	ホ	゛		
F			/	?	O	_	o	DEL			ッ	ソ	マ	゜		

注意:

" ■ " はスペースとなります。

" ■ " は、国際文字セットを切り替えると文字コードが切り替わります。

国際文字セット表

国際文字セットの設定を変更すると、その言語に対応した文字に切り替わります。

n		23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
0	合衆国 (U.S.A)	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
1	フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
2	ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
3	イギリス (U.K.)	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
4	デンマークⅠ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
5	スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
6	イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
7	スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
8	日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
9	ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
10	デンマークⅡ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
11	スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
12	ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú
13	韓国	#	$	@	[	₩	]	^	`	{	¦	}	~
64	リーガル	#	$	§	°	´	"	¶	`	©	®	†	TM

付録 D: トラブルシューティング

印刷が開始されない場合（よくある主な原因）

(1) 通信設定があっていません。

(2) コマンドモードが、P-touch Template モードになっていません。

(3) 印刷開始トリガーの条件を満たしていません。

印刷開始トリガーには下記の 3 つの種類がありますが、この選択が正しくありません。

●設定されている文字列受信時

●全てのオブジェクトが埋まったとき

●設定されている文字数受信時

上記設定が正しくないときは、本体設定ツールを使って設定をしてください。

データベースにリンクされたテンプレートが印刷されない

(1) 検索文字列の後に必ず区切り記号を入れる必要があります。

(2) 印刷開始トリガーは必ず「設定されている文字列受信時」となります。

例：チョコレートのキーコード（333333333333）を検索して印刷する場合

	A	B	C
1	キーコード	品名	値段
2	111111111111	ショートケーキ	350
3	222222222222	キャンディー	150
4	333333333333	チョコレート	100
5	444444444444	クッキー	250
6	555555555555	ストロベリーパイ	600

333333333333 09h ^ F F

バーコードが印刷されない（よくある主な原因）

(1) バーコードのサイズが用紙に対して大きい／印刷領域をオーバーしている

バーコードが印字領域内に収まらないと判断される場合、プリンターはバーコードを出力しません。

バーコードを小さくするか、または位置を修正したうえで再度お試しください。

付録 E: 開発者ツールサイト（Brother Developer Center）のご紹介

下記のサイトに、開発者の方に役立つ情報を掲載しております。ぜひご参照下さい。

・アプリケーション、ツール、SDK の紹介

・操作手順動画

・よくある質問

https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html?navi=offall

brother